滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日一行一角五分登一月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

清國營口中盛街
發行所 滿洲日報社（電話二九番）

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

營口市况

布 元百六吊百至六三吊一百
豆 價錢五吊四百文至五吊
油 共上車三十餘輛
（共來七十餘輛）
價大吊九百至六吊八百

洋紙

一連紙 一連 一圓
一フールスカツプ全 四圓
一中判洋紙全 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一巻紙 四十枚綴 十四錢

家具

一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一簞笥 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

特別廣告

資本金貳千四百萬圓
積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室
百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
竹島丸 十八日出帆太沽、芝罘、門司、神戸
營口丸 廿四日 仝
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
頼朝丸 十四日 門司、神戸行
金龍丸 十四日出帆 芝罘、長崎行
大龍丸、國見丸 臨時芝罘定期
萬成源丸 龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
ビール、スペシャルライト
廉價ニ販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
營口瀛船出帆廣告
潮洲丸 十六日出帆乘客謝絶
南越丸 十四日未明出帆門司直行
能登丸 廿一日入港
代理店 東營口公園地横 ブクレニ兄弟商會
遠來洋行（電話二十三番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絨布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意惣覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中穎之助謹白
電話（店一八三番 住所五五番）
開設老爺閣街同盛德院內

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡貯輪船裝卸貨物極爲利便園貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祗做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚週遝知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
保裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨煤石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式褂子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閲是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（撻秝）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特運上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸 頼朝丸
專往東洋各埠
啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東清鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷 松茂洋行（電話五十二番）

矢野洋行
啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種樽詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街 電話百三十七號 本行主人啓

三井洋行
電話 第六十六號 第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

周
鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年并在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人 周鶴雲
運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之築造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局之需 局本主人啓

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨皆交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙 貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東 營口南永世街北斗洋行
西 櫃設 營口西北街塘子胡同內

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠料有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組
木料棧材料出售
啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克已凡中外士商光面議顧請到本棧

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇 英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮蔵

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
●、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
特許 關東總督府
丸重洋行
營口西北街（電話一八番）
牛家屯停車塲構內（電話四六番）

東三省電報總局廣告
接運啓者頃接上海電稱 各省將軍都統督撫院提鎭藩臬運道暨各關局處均鑒美屬舊金山地震成災 僑屬各國商工民人暨遭慘厄 美廷迅即救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰 聖慈沛糈肆萬兩 飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起 一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粤商湊集洋伍千元購美金電匯一面仍偕各紳商多方設法 藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅 謹此電聞尙冀尊處本擬籌撥欵項請速滙 美京梁使收撥或將欵匯滬交商會擊取收條爲憑代買美金轉滙總祈迅速籌濟爲要 呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰會徵京炳棣沈敦和任錫汾周晉鑣會鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者 請速將欵逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局 代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民 不勝企禱謹啓 各貲官

倫敦電報

●**警備隊のスエス行** 埃及警備隊の有力なる一部隊は砲五門を以てスエス運河の東に趣けり

●**英艦隊の運動** 海軍少將ルイ親王は巡洋艦二隻を率てパイリーアス（ギリシヤ）に到着し又第二巡洋艦隊の軍艦數隻明日到着の豫定

●**議員スワン氏の發言** 下院勞働派議員スワン氏は軍備縮少の爲めに果斷の處置を取り又之をヘーグ平和會議に議題として提出せんと發言し滿場一致を以て可決されたり

●**海軍少將の進航** ラムトン海軍少將は軍艦ミナーバに乘りてポートサイドに到着しカイロに向ひ航進せり

●**列國郵便會議の議決** 羅馬に於て開ける列國郵便會議に於て信書の重量の單位一五グラムを增して二〇グラムとなし之に對する最小郵税は元の如く二ペンス半となし二〇グラムを增す毎に一ペニー半を增すことに議決せり

●**獨墺兩帝會見の臆測** 獨逸帝がフランシス皇帝を訪問せしことに關し種々の臆測を試むるものあり佛露及び英國の接近を見て墺國の友情を維持せんとする獨逸帝の決心なりと解釋するものあり （以上五月十一日發電）

雜報

●**聖旨深き行幸啓** 大勅祭の第二日 天皇 皇后兩陛下には降り頻る雨をも御厭ひあらせられず前後して宮城御出門、鳳輦鳳駕粛々として靖國社頭に進めさせられつゝ最と嚴かに御拜あらせられしに遙かに控へ居る文武官は申すまでも無く遺族の面々感涙に咽ばざるは無く、特に此日 陛下の召させ給ひしは去年伊勢の大廟に捷を告げ給ひし時と同じき御正裝に渡らせられしのみならず雨中の行幸行啓は實に例稀れなる御事にして畏けれども過ぐる戰場に於ける忠死者の諸靈に對して極めて厚き御聖旨の存せることを拜察し奉つるべしとぞ承はる

●**大觀兵式の光輝** 大觀兵式の壯大偉觀は世界各國に於ても容易に見る可らざる空前の盛典にして彼の普佛戰役後の伯林觀兵式にも劣らず但だ獨り騎兵の乘馬のみは稍々遺憾の點なきにしも非ざりしが其他は悉く外人の敬意を招き各國の陪觀武官をして覺えず感嘆の聲を發せしめたり尤も參列の兵數は觀兵式として敢て列國を凌ぐ程の事はなきも各軍隊の整容は以て戰勝の偶然ならざるを證して餘りあり特に該觀兵式に對する國民の熱誠なる歡呼と崇實なる尊敬とは眞に幾十萬の將卒をして進んで邦國に殉死せしむるに足る此點に於ては獨逸を除くの外多く世界に求む可らざるなりと某外國武官等は評し合へりとぞ

●**大連開市に就て** 我が政府が近き將來に於て大連港を開市場とすることに決定し居るは事實なるも如何なる政策に由て該港を利用すべきやは尙研究中に在り最も勢力ある一說は獨逸靑島の經營に倣ひ該港を四分の一丈け自由港と爲すべしと云ふに在りて滿洲經營調査委員歸朝の上同會の一議題となるべき摸樣ありと

●**蒙古の大地震** 某所に達したる電報によれば蒙古、ウニアンカイ、雲南附近に强烈なる地震あり數里に亘りて龜裂を生じ其の龜裂中には有色の水及び岩石を認め所在人畜の損害家屋の損壞算なく其慘狀目もあてられず被害民の救濟極めて困難なりと又別報に依ればフォキエン地方にも激震の襲來あり震災の最も甚しきはチュエンチョー地方にて地鳴の凄まじきこと雷聲の殷殷たるが如く家屋の潰倒したるもの多數なるが人畜の損害數は未詳なりといふ

●**昨年の米實收高** 農商務省の調査に依れば昨三十八年の米の實收高は三千八百十八万千百十七石にして之を前年に比すれば千三百二十四万九千百四石即ち二割五分七厘平年に比すれば六百二十万六千八百九十九石即ち一割三分九厘の減收なりといふ

●**戰歿者大追弔會** 去る三日開會せる東京市及び府下實業家聯合の凱旋軍歡迎會幹事會に於て五日の歡迎會に引續き來る十五日頃上野公園に於て日露戰役に於ける戰死病歿者の大追弔會を催し出來得る限り廣く遺族を請待して死者の英魂を弔ふと同時に遺族に對する慰安の實を擧ぐることに內定せりと云ふ

●**買收後の京釜鐵道** 京釜鐵道買收期は愈々半期決算後七月一日を以て其受授をなす事に確定したる由なるが其引繼後之れが管理に就ては統監府に於て引繼を了すると同時統監府に於て之れに當るへしと雖も唯た目下の統監府鐵道局は之れが設備なきを以て通信管理局の例に倣ひ鐵道管理局なるものを新設し書類及び現在の線路一切の引繼を受け之が管理の任に當る事に內定したりと

●**滿洲調査會方針** 過日來屢々開會したる滿洲經營調査委員會は已に大體の調査を結了し其の結果若槻次官酒勾局長一行の實地視察と爲りたれば右一行の歸京報告を竢ち大方針を決定する筈なりといふ

●**大海戰の一週年** 來る廿七八日は露國バルチック艦隊を全滅したる日本海々戰の第一回紀念日なるを以て當日は海軍部內に於て盛なる紀念會を開かんとの計畫中なりと云ふ

●**東京市の市民大會** 騷擾事件被告の無罪、警視廳の改革、免に角警廢同盟會運動の一小段落を告げたるものなれば此際、河野、山田氏等の雪冤會を兼ね昨年騷擾事件の際死傷したる者の弔慰の爲めに催す市民大會は愈々今十三日午後一時より日比谷公園に於て開會することに決し當日は河野、山田、細野、大竹、小川、櫻井の諸氏を招きて雪冤の趣旨を發表し更に死者の遺族を招待し追弔會を開く順序なれば本會の趣旨を贊成するものは何人と雖も來會するを得べく尙餘興として煙花樂隊ありと云ふ

●**みちくさの記**（三） 鐵道受授 はまのや

予が舍りたる異隆泉の客舍といふは夜目に定かに瞭かならざるも庭の潤やかなるアチラにもコチラにも馬に水嘸せべく秣飼ふべく其裝置なかくに五頭曳六頭曳の荷馬車、四十輛、五十輛收容するに容易なるかことし、予れ導かれて今宵一夜の安息所たるべき客室に入る、室とは名のみ支那宿屋の雜風景一列一帶先着順に枕を並べて横臥したる光景、恰も是れ昔ありしと聞く加賀藩の臥寢の掟その古事さへ思出されておかし

加賀藩の寢像を見たり梅の宿

疾く來りて就寐する者二三十人皆辮髮先生のみ、予は所謂お山の大將なり自然に肩の聳ゆるものあるを覺ふ、宿の誰彼れ來りて此珍客を持囃し日本大人々々と崇め奉る

嘯るや樹てし旭旗の四方より

日本人として同地に舍りを需めし者予を以て嚆矢とす、馬夫又頻りに予をして頗るイラキ人の如く紹介し居るか如し

珍客とは眞に我事梅の宿

馬夫と共に食を命して喫す、たらふく喰ふて後勘定を聞けば僅かに一人前か六十錢也、朝疾く出發すべきを馬夫に命して寐に就けり時是れ三更人定まつて聲なく四隣寂莫たり、馬賊除けにやあらむ闇を裂く空砲の音或は遠く或は近く、猪々たる犬の聲、枕邊の燭の灯風なきにゆれてあわれ深し

灯は淡し旅寐の春寒し

明くれば二十五日なり此日我受領委員の一行四平街に到着談判を開始すべき當日也、急かすんはあらずシカモ當村より鸑鷟樹迄二十五清里、鸑鷟樹より四平街に四十清里、四平街より同停車場迄十五清里なり合計八十清里の行程を控ゆ、支那馬車中の人となつて拂曉同村を發程す、而して鸑鷟樹に着したるは午前十時半なり、昌圖公司出張所に到り中田常吉氏に會し、馬車にては目的地に當日到着すべき事覺束なし仍て騎馬以て之れに達せんことを議る、中田氏諾、之を當地の團聯に命し用を便すべきを以てす、茲に時間を費すこと二時間牛兵裝したる團聯兵來り予を跪拜言ふて曰く用意整えりイザ出馬あるべし僕之れか先驅せんと、茲に於て予は馬上の人となり先驅たる騎馬兵に尾して鸑鷟樹を發す、騎馬の團聯兵道々予を以て日本の大々大人なりとなして風聽し行けるか如し、然り鸑鷟樹迄は秋山兵團の前進したることあるも夫より以北は全く露の勢力の範圍なり、密行したる人はともあれ日本人として大手を振りて濶歩したるもの予一人のみ、予は即ち此街道に於ける我勢力扶植の先驅たるなり

春風や騎上大手を振つて見る

司法大臣松田正久氏

●**郵便爲替の近狀** 牛莊郵便局に就き爲替の近狀を聞くに毎日の受入は平均四千圓前後にして同しく其拂出は千五六百圓なり更に受入の口數は毎日約百口にして拂出は三十口位の平均となると云ふ受入に於て宛先の最も多きは依然として關西地方にして就中九州、最も大部分を占め而して九州に於ては更に長崎附近最も多しなり長崎地方最も多しと云はゞ同時に送金者の大部分は依然として婦人連なるかと聯想する者無きにあらざるべしと雖も實際に於ては然らず婦人の送金者は近頃に至りては甚た減少し日々僅に指を屈するに過ぎす即ち最も多きは商人なり蓋し一般の聊か意外とする所なるへし次に拂渡しも其の最も多きは關西地方よりの送金にして更に之に次くは新民府、奉天、撫順邊より送金せし者なりと云ふ

●**大島總督歸府の期** 大觀兵式參列の爲め出京せられたる大島關東總督には已に觀兵式も濟みたるも他に要路との打合せ事務もあり旁々今猶滯京中なるが十五六日には出發の運ひに至るへきを以て本月二三四日には總督府新所在地たる旅順へ歸着せらるへしといふ

●**ラムチと支那人** 奉天歸客の談に奉天邊も支那人か漸次高襟黨に進化するの風あり現に飲料水たるラムネの需用等も今日に於て既に弗々之れあり暖氣の增すと共に需要甚だ增加するの趨勢あり奉天唯一の製造元たる牛田洋行は今日已に一般より成効を豫言せられ居れり唯だ目下の相場たる一打（小瓶）七十錢一瓶十錢にして土人に對し販路を擴張するには聊か高過ぎさやると云ふ者あり

●**撫順炭礦と東北窮民** 東北凶作地救濟の一方法として其窮民を撫順炭礦に使役すへしとは或一部人士の議に上り居れるが愈々實行に決定し其第一回募集員百五十名は過日加賀丸を以て大連に到着し一泊の上就業地たる撫順炭礦に向ひ已に到着夫れ〴〵役務に服せるが目下何れも同炭礦の外勤を爲し居れりといふ

●**郵便切手の近況** 尙ほ牛莊郵便局の昨今の郵便切手の賣行の模樣を聞くに本局の發賣高は日々百圓位にして小包取扱所の方に於て發賣する高、亦た毎日八十圓位ありと云ふ更に各切手中其の賣高の細別は毎日一圓二十枚、五十錢二十枚、二十錢五十枚、十錢百五六十枚、三錢五百枚、五厘百枚位の以內に在りとなり尙は端書は毎日百七八十枚の賣上ありと云ふ因に以上の細別は本局の賣上に付ての細別と知るべし

●**森脇源馬氏の來營** 在新民府なる泰東公司なる森脇源馬氏は豫て歸朝中の所此程來營目下大和館に滯在中なりといふ

●**本願寺の日曜說敎** 當地永世街本願寺出張所に於ては定例に依り本日午後一時及び八時（營口時間）の兩回に於て日曜說敎を開き淨土眞宗の宗意安心の骨目たる領解文に就て寺本布敎師より說敎ある由なり

短篇小說 **葬具屋** プーシキン作 吹田蘆風譯

小說『おとし胤』、作者病あり、續稿未た到らす、乃ち兩三日を休揭し、代ふるにを以てす、作者は是れ露國文豪の泰斗、而して譯者は即ち在東京文科大學の秀才たり、其讀んで多趣多味なる復た贅辯を須ゐす、僅々三四回の短篇なれは、將に倦まんとする讀者の耳目を新にするに於て、却て過ちの功名たりともすへきか、謹で豫告す

●**妙心寺派の說敎** 本月十三日午後二時より定例により老爺廟內妙心寺派出張所に於て古川布敎使の佛遺敎經の讀講あり次に「靈雲禪師桃花を見て大悟せし因緣に就て」といふ演題にて一場の講和ある筈なりといふ

●**東淸運漕總局の懇親會** 遼河輸送を營業とせる當營口運漕總局にては業務日に盛大に赴けるを以て其延引せる披露の宴を兼ね關係日淸兩國人百五十餘名を招待し本日午後三時より西營口會芳園に於て懇親會を開催すといふ

●**遼陽州官設醫院**（下） 綠城生

▲日本醫界の發展 要するに同醫院の辿りたる徑路は斯の如く其發端は施療院に始まり一たびは博濟醫院となり最後に轉して淸國官憲の經營に屬し遼陽州官設の名の下に存立し居るも事實は日本醫員人の手腕を竢つて活動し將來發展の機運に向ひつゝあるは嬉ばしき現象にて取りも直さず日本醫界の發展にして又或る意味に於て日淸人の和合を援くるの機關ともなる所以なれば宜しく細心注意を加へ他日の成果を期待するや切なりと云ふべし

▲何知州と新醫員 聞くが如んば現何知州は比較的文明頭腦を有し銳意開化の實を日本に仰ぎつゝありといへば同院に對する施設等も當局者の熱誠と手腕とを以てせばたとへ完美するに至らずとも近き將來に於て現狀以上に進步するは炳然として一点の疑なし幸にして將に來着せんとする同院主任醫員赤十字社醫員岩田淸三郎氏は既記の如く刀圭社會に於ける敏腕家として斯業の堪能家なりといへば吾人は刮目して同院事業の成果を期待するに躊躇せざるなり

▲同院の現狀と患者 而して同院に於ける現狀を聞くに日々の外來患者百名內外にて悉く不潔に原因する外科患者のみ內科患者は至つて少し以て彼れ淸人の意向を推知するに難からず又多くの患者は下流の輩にて中流以上は忍みて來らず道は無料施療を慚づる風習に出て彼中流以上の淸人は體面に拘泥し如何に病苦に惱めるも頑として來らさるによる

▲當面の改善方針 由來淸人は南北を問はず体面を重んする癖あるを以て是に對する方法を講するの要あり此に於て同院は早晚院室を區劃し藥料を徵して以て中流以上の淸人患者を竣つに便ならしむる由尙進んで內科患者を招くの方法を講じ患者を收容する病室を設け一層進んで淸國婦女子の病患に惱めるものに接近するの道を講する等今考究中にありと云ふ

▲貧血性患者 尙聞く所によれば貧血性患者殊に多くマンガンテツペプトンと云ふを投藥するに藥效倏ち現はれ總ての疾とも日本人に比し藥力の效果顯著なるは實に驚くべき程なりと云ふ附記す同院に於ては日本人患者に對し規定の藥料を徵し治療に應ずる由に聞く

●**東西南北** 目下我邦へ來遊中の墺國女優リツトマーは歸國の土產として我美術骨董品二十五万圓がた買入れたさうな▲桑港では新に支那町を造くることを禁止するさうぢやが不時の災難を機會に弱者の壓迫は夙に俠名を負へる米國の遺口としては受取れ難い話である▲英人一年間の酒消費高は十六億九千萬圓のさうだ大國は何處迄も豪らい▲此頃地方から体操音樂の女敎師を聘用するに美貌を第一の資格とするさうなが其理由とする所は醜貌女敎師受持の生徒は成績が不良だといふに在る面白い現象もあるものである▲松山の俘虜オヂツサで五年以內に再ひ日露戰爭が始まると日本の士官が言つたといふことを話したらそれが電報に爲つて露西亞全國に渡り露西亞人は早晚再ひ日露の衝突が免れぬと信して居る者があるさうな露西亞人は何時も愛嬌ある滑稽をやる▲浦鹽では毎航必ず十人二十人のリーベン賣春婦が入込んで來て今ではもう何百を以て數へることに爲つたげな日露戰爭でさへ落城せしむるに及ばすして物別れと爲つた島港の要塞も女軍の侵略的勢力は到頭防ぐことが出來ぬと見える▲東京の昨今は丁度龜戶の藤四ツ目の牡丹大久保の躑躅が見頃であるさうなが營口の昨今は泥濘の中にもぐり込んで蹈ゝやうな生活をしなければならぬとは情け無いでないか

火車時刻

關內外鐵道

上り
營口發 前八、二〇 七、〇〇
溝幇子同 九、四五 九、〇〇
錦州同 后三、四五 二、〇〇
山海關着 六、〇〇 八、一〇
山海關發 前八、一五 五、〇〇
塘沽同 后二、二〇 四、一〇

下り
山海關發 前七、〇五 四、四五
錦州同 后三、三五 二、〇五
溝幇子同 二、四五 四、四〇
營口着 四、三五 七、五一
北京發 前八、〇〇
天津同 一一、〇九 六、一五

東淸鐵道

上り
新民屯發 前六、〇〇
溝幇子着同 九、五七
營口發 前六、三三 后九、三五
大石橋着同 七、三〇 一〇、三〇
大石橋發 前八、〇五 后二、〇五

下り
溝幇子發 后三、〇〇
新民屯着同 六、五七
大石橋發 前八、一五 后二、一五
營口着同 九、一〇 三、一〇
大石橋發 前七、三三 后一〇、三三

諸鐵工製作
鑛山 船舶 機械 鐵工
輕便鐵道 附屬 鐵工
土木建築用鐵材料
營口ブロツクレイ定商會門
川喜鐵工

謹告
小生儀旅行中の處本月七日歸營仕候
永世街

西海洋服店
歐米各國最新流行形
（電話百二十七）

天氣豫報
營口地方入氣豫報 自十二日午後六時 至十三日午後六時
南の風曇り

新作小說 おとし胤 (六十)
德田秋聲

光は、蕃椒を喰はせられて、また更ににがりを嘗めさせられたやうなものである。極が悪いやら、口惜しいやら、顔は、火のやうになツて、體は鹽をかけられた海鼠である。

「誰が、これを呼んだのぢやの。」

「獨で參ツたのでございます。」

と夫人は、爲得顔。

「獨での……………は、呆れますの。」と母堂は、尙だ涙に濕むだ眼で、ぢろり「何程田舍者ぢやといふて、餘りと謂へば餘りな無作法者の。氏より育ちと申しますが…………」

光は、もう耐らなくなツた、思はず聲を揚げて、廊下に泣倒れると、有繋に見るに耐えなかツたのか、櫻島伯爵は、素知らぬ顔して、楷子段の方へ、そろ／＼。呉羽伯爵を始め、その他の紳士も後に續いた。途端に、海鹿子爵は、扉を押して、つツと廊下に現はれた。

「何んぢや、何うしたのぢや。」と激した聲で呼はりながら、ふと、光の姿を見て、眼色が變ツた。「妻、こりや何うしたのぢや、何を致したツ。」

「何う致しましたか、那にお聞き遊ばせ。」と夫人は空嘯きながら、見送にとて、しとやかに來客の後に續いた。

母堂も、それに續きながら、

「ふう、これが、海鹿の嗣子かや。好い嗣子の。好い恥掻の道具の。」

海鹿子爵は、鋭く眼を光らしたまゝ、拳を握ツて何んとも謂はなかツた。

やがて、衣擦の音、輕い足音は、楷子段の下へ消えるやうに聞えなくなツた。最後に母堂の切下げ髪も見えなくなツた。

海鹿子爵は、凶い夢から覺めたやうに、吻ツと歎息して、

「光、何故泣く。」と眉を顰めながら、「泣くことは無い、むゝ、何うしたのぢや。何うしてまた、其方は、こんな處へ來て居ツたのぢや。馬鹿の。」

と叱りながらも、言は優しい。

光は、何んとも謂はぬ。嗚咽しながら、父の温き情を感謝しながら、而も小御門村の共同墓地の中で遭ツた彼の偉漢のことを思出した。そして偉漢の謂ツたことが、今更のやうに、ひし／＼と胸に思當る。いや、光が、偉漢のことを思出すのは、今に始まツたことで無い。こんな侮辱を受けた時、または妙に小突き廻される時は、何時でも彼の偉漢の言を思出しては身顫するのであツた。

父子爵は、それとは知らぬ。で、四下を見廻して、

「光、光、起きんか、む、立て、」と甚く人目を憚る躰で、背を撫でるやうにして、「これ、起きんかといふにな。何も泣くことは無い、彼等は敵ぢやから、それで其方に當るのぢや。何時まで泣くか。氣を確にしとらんければ可かん。弱いことでは、何時も彼等に笑はれて居らんければならんぞ。」

此うまで謂はれては、光は、設や身が粉になツても起たなければならない。そこで立起ツた。

父子爵は、さも滿足したやうに、

「顔を能く拭いて……………それ、涙が尙だ眼頭に光ツてゐる……………見苦しい、奇麗に拭いて……………

然うぢや、よし、よし。」

恰で振分髪の子供を慊すやうな語調である。誰にしても、さも嚴しさうな父に、こんな事を謂はれて悅しく無い者はない。光は、慈愛が身に泌みて、悅しくてならぬ。それで、悲しいうちにも、にツこりせずにゐられなかツた。

父子爵は、私語くやうに、

「これから、俺が、室へ行かう。ゆるり其方に話して聞かせんければならんことがある。」

光は、しとやかに腰を跼めた、承諾の意を見せたのだ。折から楷子段の下に二三人の女中の聲がする。客間を掃除の爲に二楷へ登ツて來るらしい。

父子爵は、楷子段を下りかゝツた。

廣告

緊急廣告

在留邦人子弟小學部(當分尋常科)愈來る十四日より開學候條入學志願者は至急手續きせらるへし

營口瀛華實學院

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船頓朝丸、摩耶山丸、第二攝海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿州内地には左の箇所に出張所を設け**海陸輸送及輸出入品委託販賣業**に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也

大阪市西區西道頓堀貳丁目　本店　河邊商店
營口元神廟街　支店　松茂洋行
大連信濃町百十一號　松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路　松茂洋行出張所
鐵嶺西門外　松茂洋行出張所
昌圖府驛　松茂洋行出張所

猶東淸鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

競爭入札廣告

一重燒麵麭　二万四千箱
但一箱六十食分入
此入札保證金各自見積り代金の百分の五以上

右競賣す買受望の者は來る五月十五日より同月二十四日迄(午前九時より午後五時迄)の間に於て現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上五月二十五日午前十時迄に入札書差出すへし

但し即時開札す此契約は滿洲軍倉庫遼陽支庫殘務整理員小野運入擔任す

明治三十九年五月十日

滿洲軍倉庫
遼陽支庫殘務取扱所

注意　殘務取扱所は關東陸軍倉庫遼陽支庫内に在り

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を諾す(産婆大道しげ子)

院長　醫學得業士　森矯
副院長　醫學得業士　長船郁太郎

一本院齒科開設
●●●●●●(五月一日より開始)
齒科醫　兒島市郎
森病院(電話一五五)

銘酒劍菱

新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也

遼陽停車場向ヒ
池上出張店

御料理

板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一圓ノ雪月花ノ會席ト仕餘ヘ御意ニ從ヒナンヂモヂスゲンシンビヨガイ

まつのや

新來の妾等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます

まつのや藝妓　ふで
全　松吉
全　二〇か
義太夫　牛荘
御客樣方

瀛船出帆案内

南越丸　十四日出港門司直行

御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尙御手廻荷物當店迄迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候

解船人夫運搬請負
水陸輸送貨物仲次所
諸品委托賣買
倉庫業

西北街　德重洋行

大勉強

一會席　三ツ鉢吸物附　御一人前　銀三十錢より
一まめめし　御一人前　二十五錢より

右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候

營口元神廟街二〇九號
月　日　翁亭

開業

日華貿易兼運輸業

一昨年來御引立を蒙り候本公司は昨年平和克復後暫く休業中に候處今般更に開業業務聊か擴張仕候間倍舊の御愛顧偏に奉希候

元神廟街二四八號(電話局向)
月　日　義安公司
廣告

和洋雜貨

盛進商行

新着
椅子　卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

從來すき燒專門を以て各位の御引立を蒙り候處今回大方樣の御勸めに甘へ料理を始め御一人前五十錢迄と定め至極御手輕に御銚子揃へて一圓以下に御遊びを願ふ主旨に御座候間何卒倍舊御引立の程偏に御願申上候

營口二本町
梅廼家
田村瀧太郎

美味安價西洋料理　牛荘亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

材木
荒物
販賣

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

發賣

料木、杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、
日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切卸賣
日本酒春駒一手販賣

營口元神廟街
捌荷洋行
(電話一四七番)

資本金參拾萬圓
日清合股

昌

滿洲昌圖株式會社
營口元神廟街第貳九八號
營口分局

總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司出經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨滙兌
五、各支店所在地棧房

兼辦關内外鐵道又海外轉運(與大淸通運公司連接)東淸鐵道沿路極各站分局現方在設備中倘蒙惠顧貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特白沿途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此謹

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辯護士戸口茂里代て事務を扱ふ

東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河内町一丁目六十七番地

追て當事務所々在の地は勿論仙臺名古屋靜岡横濱下部宮神戸廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依頼に可應候

お料理

滿月
平野町(電一六二)
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

質屋營業

精々勉強御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候

營口永世街南滙第三十六號
北斗洋行質屋部

一稅關手續
取扱
一船舶陸揚荷物
一日本汽船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管

右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尙日々Ⓟの腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少不拘御用命仰付被成度願上候

營口永世街　市街鐵道驛前
精心洋行

大原洋行

營口永世街第廿八號

白米、醤油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒、澤龜特約、其外和洋酒類

（營口無比廉價販賣す）

大原洋行

新荷着

▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹疉
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材

營口永世街八十號

喜久洋行

（電話百五十二番）

GERMANIA BRAUEREI, TSINGTAU

Light Beer after Pilsener Make.

Dark Beer after Munich Make.

in barrels of 25–50 litres . . . per litre $ .28
,, cases of 48 1–1 bottles . . . ,, case $11.50
,, ,, ,, 80 1/2 ,, . . . ,, ,, $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール一手販賣廣告

ペルシナー種ライトビール
ミニヒ種 黒ビール
樽各種アリ
二五リートル入ヨリ五〇リートル入マデ各一リートルニ付廿八錢
大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢
小瓶八十本入一箱十三圓五十錢

滿洲特約一手販賣店
營口 徳茂洋行
支配人ジユリヤス、ジヤスパーン

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し既に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すべし

營口瀛華實學院

招入學生
營口瀛華實學院

本學院肄業諸生陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設模子地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入華生俟額數充足即行截期一律入學有志願學者速到本學院報名毎日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

（營口永世街）

回天堂三木大藥房

存案 天 招牌

經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具顔料
●消毒及繃帶材料
●肥皂（胰子）牙粉白粉香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●醫藥應用所有一切各貨應俱全

（電話百九十番）

凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品精期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤
耑此佈告

工

飯塚工程局材料部

營口[illegible]前
（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街

裕和盛

電話八番

東清鐵道
遼河
貨物運送業

雜貨商

新荷着

朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋罐詰、食器
内外煙草、葉巻
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醤油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣

彩票

毎月
大連 鐵嶺 南洋 湖北
發賣

本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

發賣 材木 棹子 木炭

塩川商會

遼陽小西門内
塩川商會

清國營口二本町二五五號
主任 塩川峯吉
（電話一三六番）

建築
外に
用材北海道産松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

自造 煉瓦 ●瓦
並に各種石材販賣

營口青堆子
加州組
（電話八十六番）

ペンキ塗請負 京阪組

營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

關内外蘆漢鉄道貨物
一運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號
大清通運公司
營口支店

萬事勉強乘車乘船好位置
營口中央市場前

旅館 # 東京樓

店主 熊田兼次郎
（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需に應ず

御席料 洋料理 東京樓支店
（電話四十四番）

御披露

今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候

月 日

鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

一、税關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一驚替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候

市場北三階樓 時計店ノ二階
宮原公司

時下艷春花を見るの好時機と相成候處各位益々御清康の段奉賀候降而弊閣儀料理部開店以來幾多諸君の御愛顧を辱し深く御禮申上候隨而今回旅館部開設いたし室内の衛生装飾等細大漏らさす御客様への御便利を充分注意致し候間重ねて御引立を蒙り度此段伏而奉願候

敬白

營口二本町
祇園閣旅館部
主人
（電話一四四番）

各位

會席料理
三日月
營口警務課前南へ入る

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備

滿洲第一 湯崗温泉

効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡

營口○—○大石橋—○海城—○湯崗温泉全停車場—○遼陽—○奉天

宮門抄

十五日

禮部 太常寺 正紅旗值日無引見

侍衛處奏派稽查壇墻 道府路槐卿等謝恩

派出澧深 英慈 額勒和布 玉璋 岫 鍾靈

召見軍機

練兵處遞封奏一件 吳保齡遞封奏一件 王誠義遞封奏一件

奏議

署理兩江總督山東巡撫臣周馥安徽巡撫臣恩銘跪 奏爲請移駐同知以資巡防而收治效恭摺具陳仰祈 聖鑒事竊查設官分職原所以資治理而隨地制宜則尤貴乎因時茲據布政使馮煦按察使聯啓奏會詳據徽州府詳稱該府同知本係管轄六邑駐紮府城兵燹以後全徽市鎭以休甯屯溪鎭爲最凡江南茶釐浙江鹽務以及稅釐土藥各局胥萃于該鎭每當春茶土市肩趾相錯極其熉盛而土客良莠不齊稽查一切頗不易治僅有太厦巡檢一員駐紮該處實不足以資彈壓查屯溪鎭本係該同知管轄以之移駐該鎭於地方較有裨益所有缺分應請毋庸改煩仍照例支食原設俸廉役食並用原頒印信緝捕六屬一應處分亦仍其舊該同知原設衙署毀於兵燹歷任均賃民房居住今擬駐亦先租民房辦公徐圖修建並以現任同知丁繼瑞穪練周詳巡防得力堪勝移駐等情會詳請 奏前來撫臣誠勳未及會辦交卸臣到任准移會同臣周馥查得徽州府界連江浙兩省原設同知一缺本係管轄六縣稽查巡緝等事自兵燹之後全徽市鎭悉萃於休甯縣屬之屯溪鎭近年稅釐各局林立於鎭巡防尤爲重要而分防文職僅祇舊駐太厦巡檢一員難資鎭懾委係實在情形查安省鳳潁同知鳳廬同知池太同知均已移駐有案自應查照量移擬請將向駐都城之原設徽州府同知員缺移駐休甯縣屯溪鎭地方專司巡緝稽查所有屯溪鎭一切賭博私宰彈壓打降等事責令該同知就近管理仍督緝六屬各案犯其刑名錢糧事件均照例歸各縣按照界址辦理該同知不准擅受民詞該鎭本係同知轄境毋庸改爲繁缺亦毋庸另鑄關防所有移駐後應支俸廉役食均仍照原額銀數分別解支原設同知衙署久毀於兵係賃民房居住今移駐該鎭應令扼要賃住俟經費稍裕再建衙署復思移設員缺原爲整頓地方起見若不得人則仍無裨益現任同知丁繼瑞年四十八歲係江西德化縣人由光祿寺署正銜於光緒四年遵例報捐同知指分安徽試用五年加捐分缺先補用免試用保舉並加捐知府銜六年七月到省丁憂起復回省二十九年奏補今職先行署理十二月初八日奉部覆准三十年正月十九日奉文准補臣恩銘到任未及三月例不加考臣周馥查核該員堪勝移駐之任應請卽以該員移駐屯溪鎭毋庸另行揀員以資熟手合無仰懇 天恩俯念地方緊要准將徽州同知移駐休甯縣屯溪鎭以資巡防而收治效除咨部查照外謹合詞恭摺具陳伏乞

皇太后 皇上聖鑒飭部議覆施行再此摺係臣恩銘主稿合併陳明謹 奏奉 硃批吏部議奏欽此

中外要聞

●印提督測路之傳聞 印藏條約已歸和平了結政府已可暫抒西顧之憂但聞有可靠之消息言印度政府派有提督一員並帶精于測繪之都司等數人近擬查勘印藏進兵之路云

●俄官可畏 黑龍江消息言哈爾賓俄國武官陸希堀管理東清鐵路各事往往干預詞訟欺壓平民民心頗極不服誠恐激成變亂現聞俄政府已因事調其回國該處人民如釋重累云

●咨請阻止俄人在圈外放牧 近有俄國商人販運大幫牲畜赴烏魯木齊內地畜牧擬佔圈外地放草經新疆巡撫以於例不符將飭伊犂地方官及迪鎭道等勿發此項護照並飭照知俄人仍照原定例章在圈給之牧地放牧以符定例等情一面並由新疆巡撫咨中丞咨報到部以憑核辦

●廣東大雨九十日 頃接廣州友人來函云廣州淫雨爲災凡九十日西北江水暴漲各處基圍異常危險而尤以北江之石角圍最爲吃緊倘若崩決則北江之水直趨省城也聞居民救護日以數千計云

●美使要求 駐京美使照會外部略云貴國此次擬以奉天安東大東溝三處開作商埠敝國殊爲贊成查奉天安東兩埠按照中美商約其開埠一切事宜應請與本使商定以符條約並請允洋商在城內開設行棧以興商務云云外部覆照略云東三省開埠事宜應與北洋大臣及奉天將軍商定現已據情電商俟有覆電與日本商定覆答云

●請蒙王回旗辦匪 東口蒙古達爾漢旗因馬賊異常滋擾該蒙王仍在京未回聞該旗盟長電稟該王請速回旗一則整頓旗務設法請兵防匪以免滋擾一爲肅邸將行至本旗預備查辦云云

●美牧師推廣設教 美國駐京美以美教會牧師劉海瀾氏因有要事回國月前出京聞行至錦州在該處設一教堂將來爲在東三省推廣行教地步現巳由錦赴營再搭輪赴滬回國約需三四個月後卽可回京云

●請撥欵補種陵樹 盛京趙爾巽將軍電奏聲稱盛京陵寢經日俄戰陣之餘陵樹前被俄兵斫伐殆盡雖經日軍保護然亦不免損傷請撥款補種陵樹以資蔭護而壯觀瞻

●南昌案革紳問題 南昌教案前已議結然約內有將李瀋司梅道等干預教案之官紳八名一律革職一節政府大員多不以爲然皆謂如以此約聲明天下恐民不服激成巨測 兩宮召見樞臣垂詢多時再飭外部另行磋商但至于汀大令係自刎及中國認賠等款既由外部允認議結不再磋商故轄紳議處一節如見議結則中法南昌教案全見辦結也又於中英南昌教案巳前辦結中國惟向英照數認賠而其賠欵蓋英金三千磅云

●庫倫募兵購槍 前庫倫大臣樸壽爲保護商務彈壓匪徒起見曾奏請在庫倫練兵五百名以資鎭攝而杜俄人覬覦然迄未實行現庫倫大臣延祉擬踵其意招募蒙兵訓練聞已有電請練兵處轉商北洋定購快槍子葯運庫以資應用而重邊防

雜報

●道員奉調過營 談保帆太史國楫以道員需次奉省歷充各差皆措置裕如爲衆望所屬而於學界尤熱心提倡見重士林刻黑龍江程雪帥以該省舉行新政凡百需人特奏調談觀察已奉 旨允准卽日赴江想觀察必重爲程帥所倚任而一切新政新學必日見改良有長足進步之象矣用誌之以爲江省賀

●魚販虧貲 昨聞市人語向年每當海市之際凡北城鐵開潘遼一帶及本埠魚販等爭向北地販運鹹魚時獲厚利因之今春販魚北去者愈形其多詎今非昔比人民無所營生錢荒綦甚凡魚販於北地等處槪少受去以故南北各販均有虧折之虞云

●車逸傷人 昨午後有一裝蓋州貨之大車將客貨交清回店行至關帝廟後車忽驚逸致將老者撞倒觸傷脛骨幸經路人速往救起扶行多時尙未醒傷要害車戶情願出洋二元以作請醫之費安慰老者使去云

●追索拾遺 日昨東盛和門首有設攤販賣京貨之床不知因何大意將子表一枚遺落於地旁有一小孩見之意爲遺失之物拾起逃奔爲看查街巡捕見此情形立即追趕王與順魁南街始將原物尋回仍交貨主云

●異事駭人 牛家屯居民孫姓由析木城來云該處康家屯農民蔣某年五十餘二子一媳詎於月前因病身故未殮復活大呼餓甚子媳聞聲駭奔屋外及鄰里群聚莫敢近前良久蔣乃自將靈床收拾向厨案尋飯一盆啜盡更飲涼水一十餘盃旋歸臥室怒詈子媳全行不孝云云二子迫於天性近前事奉日夜不離惟蔣生平目不識丁今則博通書籍判若兩人且日食六七次每飯須米二升餘睡則鼻息如雷鄰人俱駭村衆恐生禍變思厭禳之而延巫進門皆心迷若睡强拽於外始能言動衆愈恐勸其二子速速活埋其子不忍衆情急會商村長派兵十名縛蔣置於車上華歷四月一日送於海城稟官勘辦未悉今竟如何云

叢談

●俠妓 張獻忠性嗜酒當破荊州時于某府樂戶數十行酒內有歌妓名瓊枝者色艷出羣獻忠命之歌答曰我雖賤豈肯以歌侑賊觴毅然弗從以刃挾之仍不從反笑曰汝技止此耳奈我不畏死何獻忠怒屠之喂犬同時又有歌妓名曼仙者獻忠亦召至極逞技能曲意逢迎大得獻忠悅寵倖無比惟獻忠每夜將寢必豪飲曼仙侍之一夜曼仙暗置毒於酒以圖獻忠滿斟以奉獻忠狎之手挽其臂曰卿可先飲曼仙却之不得立飲而斃獻忠始覺碎 其屍

●拿破倫瑣事 拿破倫出兵打仗時常携帶小書一本收藏極爲秘密最恐爲人所見後有人偵探得是譯本中國水滸傳拿破倫所用之廚子是中國廣東人傳說係由破埃及時得者拿破倫有一名愛兵却恨他膽怯因此想出一法每逢行軍時候必把他捆住了令立在陣前槍彈如何雨下起初那兵嚇得冷汗直流後經過了幾次膽漸壯大就跟著主帥一同打仗屢立戰功

拿破倫辦事的房屋旁邊有一個小門只要把指頭在門上一彈卽有一美人推門出這美人是法國的名妓拿破倫因愛他召進宮去美人也很願意猜宮中必定繁華富麗那知進宮後却住在地牢子裏頭不是拿破倫叫他一刻也出不來後竟愁悶死了

NEWCHWANG, SUNDAY, MAY 13, 1906.

There was a session of the Consular Body at the American Consulate-General yesterday at noon.

Capt. E. C. Jennings, Royal Fusiliers, who has been here on a visit, has left for Peking this morning.

We learn with regret that Miss Sargent met with a slight accident in her ride a few days ago, but are quite pleased to hear that she has almost got over it.

Owing to the uncertain weather and bad roads, the proposed riding excursion for to-day has been postponed a week and will come off next Sunday.

We are informed that Messrs. Bush Bros. expect by Messrs. Butterfield & Swire's steamer "Kalgan" due here within a week a shipment of 5 horses from Australia—4 geldings and 1 mare. They will be the first lot of Australian breed ever imported direct to be offered for sale at Newchwang. In case the experimental venture turns out satisfactorily, the new line of enterprise will be launched into on a more extensive scale.

Mr. and Mrs. Ross-Thomson, Dr. and Mrs. Daly, Mr. Sargent, Mr. and Mrs. Dunn, Mr. and Mrs. Nakamura, Mrs. Masada, Mr. H. F. Bush and Mr. Irvin Thomson were present at a dinner given by Lt.-Col. and Mrs. Yokura last evening.

The revised edition of the "Bushido" came out early last year, considerably augmented in its contents.

Mrs. Nitobe who had been impressed by personal observations with the ties of friendship being much more elastic and durable in Japan, had suggested making a new additional chapter of the subject. Dr. Nitobe was not quite prepared to take up the matter then and had preferred deferring it for more mature study.

Among the several additions introduced is treated at length the highest Oriental virtue (孝) love of the parents. It is generally translated as 'filial love' which however in its common acceptance conveys neither the intensity of feeling nor the readiness for self-sacrifice implied in the magic character.

Confucius, the ancient Chinese philosopher, has given in full the popular interpretation as it is taken by an Oriental. But in China, with the growth of individuality, this prime virtue has steadily degenerated, while in Japan where it was engrafted on the Japanese moral stock, its aesthetic beauty and impelling force have been greatly enhanced and stand peerless among its kind, save for (忠) love of the country, regarded as its only equal.

Japanese history is adorned with illustrious instances of its heroic display. No villages, how remote they be, are without some inspiring legends of their own that connect a hill, a stream, or an old farm house in the neighbourhood with a martyr to this exacting virtue.

In fact, the dual love of the parents and the country is looked upon as the mainstay of the moral structure of the Japanese. This love of the parents is so uniquely Oriental that Dr. Nitobe could discover not one common point at which it meets the Western creed. He has carefully gone over the Bible twice in quest of some passage which gives expression to this peculiar love, but without reward, except finding out another spot at which the Oriental idea fails to awake an intelligent echo in that of the West.

When the new edition was ready, two copies of it along with the same number of copies of its 6 translations then existing (the Russian rendering not being out yet) were presented to the Court for Imperial perusal. A vote of thanks was subsequently returned by the Minister of Imperial Household who appended a request in the reply for a few copies of the Japanese translation, of which there was none.

Thereupon the task of filling this want was undertaken, we understand, by Mr. Sakurai on the staff of the "Student" a magazine most popularly patronized by students, of which Dr. Nitobe is associated in editorship with Miss Umeko Tsuda, one of the most finished lady scholars of English in Japan.

Dr. Nitobe holds 4 chairs at present in the Imperial University Kyoto—agricultural economy, history of economy, colonization, and statistics.

Mr. K. Masada, forsign secretary of the Administration, has once served in the Sugar Section under Dr. Nitobe when the professor was Director of the Industrial Bureau, Formosa.

Steady improvement is observed in the condition of the other Foreign Secretary Mr. J. Okabe who, unless a relapse sets in, will be able to be about early in the week.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之購本處者其價目格外公道 貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番）營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 片上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川清三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街（電話一四五番）店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號）店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 宣家勝一

料理 萬梅 豊清門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字三本町三百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百二十七號 店主 齊藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街鶴の湯角

御料理 並ニ溫泉 一力 毎日新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大益

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街

和洋御料理 日清倶樂部 奉天軍政署指定旅館（電話一五）奉天大南門裡大街（電話一四）

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）奉天小西關大街北側

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ 奉天小西門通（元紅葉館跡）（電話 號）

旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通 樓主 大瀬七造（電話十七號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 日章館 牛肉雞肉すき燒 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

旅館料理店 旭館本店 奉天大西關 旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉（電話 号）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團槌

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀨宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽倶樂部 遼陽兵站司令部指定ホテル 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋御料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門二七号 上松榮治郎

今有賓州廳之東老營口街永增盛郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元內有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

奉天 天然清水氷發賣廣告
倉庫ノ儘 毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外內 大仁洋行

爲替相場（五月十二日）
日本向 百〇二圓二十五錢（電票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 百〇二圓八十七錢五厘（百兩に付）

日本品最近物價表
紙類 加藤洋行
一 半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一 美濃紙 仝 七圓五十錢
一 状袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
一 仝 百枚 十三錢以上十八錢
室內裝飾品及寢具 矢野洋行
一 蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一 座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓
一 疊 二圓六十錢以上三圓
一 薄椽 十枚 八圓
一 麻緞通 一疊敷 三圓
一 綿緞通 仝 三圓五十錢

一和洋御料理 遼東館 遼陽城內東街
本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の持色て御座候

御旅館料理 扶桑館 奉天大西關大什字街第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

奉天小西關新來當街々 御料理本店 金城館（電話十九）
奉天小西門街大什字街 御旅館 金城ホテル（電話二〇）
營口永世街 御料理支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理支店 金城館
大連市吉野町 御旅館支店 金城館

弊館に於ては料理食品の精選は勿論器具一切取扱等凡てに注意仕り各位の御意に反かざる樣一意相勉め申候
猶は奉天に於ける旅館は料理店と兩北に三四丁を隔て全くの御商人向き旅館に御坐候自然料理店と兼ぬるを忌み給ふ御方もあらんかとて一言申添置候

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館（電話百三十）
各位樣

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙

第二回新荷着

金舛洋行
盛進商行

高等麦酒スペシヤルライト

新荷着

スペシヤルラヰトはビルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり

釀造元 大日本麥酒株式會社

滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）

各國高等雜貨 電話百五十四番

新着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍數品澤山

川本洋行雜貨部 營口永世街

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘傭致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷並に製本

弊所特色
● 印刷鮮明
● 價格低廉
● 叮嚀專一
● 期日正確

營口入口永世街東二本町角
川本活版所

集市元豆六吊百至六三吊二百
□糧價錢五吊四百文至五吊
集市共上車三十餘輛
遼東共來七十餘輛
元寶大吊九百至六吊八百

一連紙　一連　一圓
一フールスカツプ　仝　四圓
一中判洋紙　仝　二圓
一半紙野紙　百枚　二十錢
一巻紙　四十枚續　十四錢

一椅子
一寶筍
一卓子
一卓子掛
一廚房用戸棚

一圓五十錢以上四圓五十錢
三十圓以上三十五圓
四圓五十錢以上十三圓五十錢
六圓以上十二圓
七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓
本支店出張所
橫濱　神戸　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺
電話十番　支配人室
百八番　事務室
橫濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
竹島丸　十八日出帆太沽、芝罘、門司、神戸
營口丸　廿四日　仝
乘船切符發賣は出帆前三時間ヲ限リ
未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
日勝丸　十八日　門司、神戸行
萬成源丸　龍口定期
乘船切符は弊行にて發賣仕候
松茂洋行船舶部（電話五二番）

新荷着
朝日ビール、スペシヤルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

大阪商船株式會社
瀛船營口出帆廣告

代理店
盛航丸　廿四日入港
能登丸　十六日入港
ブツレニ兄弟商會
東營口公園地橫
遠來洋行（電話二十三番）

ஃ宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋綾子紋綾子絨布手巾花巾洋胰火柴綺表等類價值格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貴客就近辦理各項事宜於鐵行□□□□□□□□□□明有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽欵待周詳偉可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至　總司理人田中穎之助謹白
開設老爺閣街同慶德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

ஃ東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨運口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜發貨有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷　總司理人　葉亮卿謹白

ஃ東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之　正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

ஃ西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料棧堆棧寬大凡中外　士商賜顧者請認明招牌決不致悞　本主人敬啓

ஃ仁裕號

保險運各幇火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　本主人啓

ஃ永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東　西義順棧內　西櫃（電話九十五番）　東櫃（電話九十八番）

ஃ代代木烟公司

本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻科）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸君欲購可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買無不致誤謹此廣告

本行瀛船
摩耶山丸　穎朝丸
專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設東淸鐵路公司運送貨物自牛家屯大連至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行幷各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌𠷈酒日本淸酒一概俱全另有淸國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街爲荷　松茂洋行（電話五十二番）

ஃ矢野洋行

啓者本行開設營埠已週一載幸蒙貴客商愛顧接踵購買致敝行名譽日增不勝榮幸現將發賣各種罐詰味噌醬油以及磁器油器傢俱東洋綢緞帽子手巾地毯洋傘團扇玻璃鏡暨婦女一切妝品胰皂皮包皮箱等類物美價廉核實輕減定價不二貴客賜顧請玉臨面議可也
營口元神廟街　電話百三十七號　本行主人啓

三井

電話　第六十六號　第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候
（電話百二十八号）

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售、日本白米、

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元。分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

洋行

電話　第六十六號　第九十一號

周

鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設數十年并店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

ஃ丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

遼河運輸同濟公司

本號經官准由營口包運東淸遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨經交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙　貴商光顧者請至本號面議特仰週知
東　櫃開設　營口南永世街北斗洋行
西　營口西北街塘子胡同內

上海中井洋行
專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙訂莊粟包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連票其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧至江西路五十一號門牌可也
中井洋行

志岐組木料棧材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣
弊公司昨年開業爾來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ艀船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換可仕尚其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也
營口綏定門街第五〇　英國領事館東首
三仁公司（電話一五〇號）
小島榮歲

丸重洋行
貨物運輸

啓者　本行前在營口臺賣雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東淸鐵路運貨不論貨種多少以安全迅速誠實廉值籌貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞
電話　營口　拾八番　牛家屯　四拾六番

東三省電報總局廣告

援遲啓者頃接上海電稱各省將軍都統督撫院提鎭藩臬運道臺各關局處均鑒美屬舊金山地震成災僑寓各國商工民人睽遭慘厄美廷迅即救援各國亦均自救其僑民華商三萬餘人產業全燬仰蒙聖慈沛將肆萬兩飭由瑞徵購買美金電匯梁使派周參贊馳往賑撫華民因而寓滬紳商奮起一切情形均見日報海寰等先就上海萬國紅十字會籌湊銀貳万兩寓滬粵商湊集洋伍千元購美金電匯一面仍借各紳商多方設法藉示華商以朝野上下如此同心合力切實保護所關甚鉅謹此電聞倘尊處本擬籌撥欵項請速滙美京梁使收撥或將欵匯滬交商會彙取收條爲滙代買美金轉滙總祈迅速籌濟爲要呂海寰盛宣懷楊士琦李經新劉宇泰瑞徵京炳棣沈敦和任錫汾周晉鑣曾鑄朱佩珍施則敬任鳳苞等同叩魚等因合亟錄呈商惠鑒如有軫念同胞慨籌急賑者請速將欵逕匯美京或上海商會否則逕請就近交由各該處中國電報局代收一面先給收條一面電匯滬轉以期迅速救我僑民不勝企禱謹啓　各貴官

東京電報

●**西園寺侯の入京** 西園寺首相若槻次官の一行昨夜十時歸京せり各大臣の出迎あり首相は頗る元氣に見受けられたり

●**伊藤統監の入京** 伊藤統監昨日大磯より入京せり

●**馬政局官制** 馬政局官制近日發布せらるべし總裁は親任官にして曾根荒助氏擬せらる

●**震災御見舞特使** 桑港震災御見舞とし閑院宮を特使とし御差遣相成るべし

●**露國外相新任** 丁抹駐剳大使イズウオールスキイ氏露國外相に任命せられたる旨本野公使より公電ありたり(記者曰くイズウオールスキイ氏は丁抹赴任前我東京に駐剳し最も日本の事情に精通せる人也)

●**赤十字社臨時總會** 赤十字社臨時總會は六月十二日上野博物館にて開會の筈なり

●**露國新外相と倫電** 倫敦特電に依ればイズウオールスキイ氏露國外相任命の報道は佛國の人心に良好の感想を與へたり彼れ非侵略主義の外交政策は英露の關係を密ならしめんと一般に信ぜらる

(以上五月十五日發電)

倫敦電報

●**英國軍艦の待命** ラムトン海軍少將は英國軍艦セチス、ベルセンス、ミナーベ三艘を率ゐてポートサイドに在りて命を俟つ

●**通牒の滿了期** 土耳其に對する英國の最后の通牒は今夜十三日夜半にて滿期となる艦隊は滿期後直ちに自由行動を執るべし

●**土耳其問題の落着** 聞く所に因れば土耳其との紛紜は無事に落着するに近し

●**土耳其の撤兵承諾** 土耳其はタバー及埃及領地內より撤兵することを承諾せり

(以上五月十三日發電)

雜報

●**日英銀行の設立** 今回倫敦に於ける有名なる銀行家の發起に依り日英人合同して日英銀行を設立するに至りたるか此擧は英國に於て非常に歡迎せられ株金募集の如きも豫想以上の良成績を見たりと云ふ而して日本側にては大倉喜八郎淺野總一郎の兩氏にて一手に出資を引受けたれは別段一般に對し株式の募集を行はさる由又大倉氏より澁澤男に向つて重役たらん事を依賴せしも同男は設立趣旨に就ては主極贊成なるも第一銀行との關係上重役たるを得さるを以て顧問として相談に與る事に決したりと又役員の權利は從來外國人との合同事業と其趣を異にし日英人間に全然平等に分配せらるゝ豫定なりと

●**沿海州漁權問題** 露國は官報を以て沿海州漁業規則を發布し日本人及び外人に之を許可せさるは勿論之か傭入れをも許さゝる事に爲したるか元々右規則に依りて與へられたる露人の權利は永久權にあらさるは當然にして遠からす協定さるへき同沿岸漁業に關する日露の協約か成立すれは右の効力を消失するは明かなるへきも夫れ迄は本邦人は沿海州の漁業に手を出すと能はず又露國は右の協商に際しても是等の規則を材料として相當の利益を要求するものなるへしと

●**新關税と見越輸入** 過日發布せられたる關税定率法は來る十月一日より實施することとなり居るを以て其間各品の見越輸入を爲すもの甚た多く就中鐵類麥粉藥品等の如き昨今盛んに輸入せられつゝあり而して此等見越輸入額は幾何に達すへきかと云ふに固より十月に入らざれは明ならす大藏省にては大体七八百万圓位に見積れる由なれども以上各品を始め其他の輸入著しきか故に右豫定以上の見越輸入額を見るは疑なかるへしといふ

●**帝國義勇艦隊事業** 帝國義勇艦隊の資金應募額は既に豫算額なる千五百萬圓の半はを超過せしか尚此程原內相より各地方長官へ對し今後一層盡力して同事業を速成せしめん事を委囑せし結果各府縣知事此際奮て醵金勸誘の任に當り本年度內に累計一千萬圓に達せしめ明年度中には是非共全部應募濟に至らしむへき見込なるを以て造船事業も之に準して進行せしめ近日更に數艘の新造船製圖に着手する筈なりといふ

●**東北の霜害慘狀** 米作凶歉の爲めに非常なる慘害を受けたる福島宮城兩縣は又々霜害の爲めに悲慘なる打擊を受くるに至れり今回の霜害は群馬縣の如きも亦甚しく其全縣下の損害約三百萬圓と算定せられ居れとも福島縣の如きは更に之れよりも甚しくて一千萬圓を下らさるへしと稱せられ宮城縣の如きも亦之れに讓らさる損害を受けたり此福島宮城兩縣の如きは米作の凶歉に據りて受けたる慘害も養蠶の利に據りて其幾分を回復せんとを豫期し居たるに今回又々此霜害に依りて非常の大損失を被りたれは今後一層の慘狀を呈するとならんか

●**浦鹽斯德の亂脈** 浦鹽斯德歸客の談に據れは同港の秩序未た全く回復せす四月中日本婦人一名公共浴場に於て露人の爲に輪姦せられたるも出訴の手段なく泣寢入りとなりたるあり又郵船會社の弘前丸乘組火夫六名は要塞地帶に入りたりとて捕はれ又第三琴平丸の乘客船職工五名も市街散歩中同しく要塞地帶に入りたりとて捕はれたるより米國貿易事務官に就て之か救濟方を談せしも露國官憲は要塞地帶の區域を明示せす勝手に捕ふるものなれは手の附けやうなしとの事なり又日本船の荷揚けは泉某なるものゝ手に日本人夫五十名あり晝夜兼行にて千噸の荷物に四晝夜を要する有樣なるか或外國船の如きは荷役のため三十日間を停船せるものありといへり

●**驅逐艦疾風進水期** 目下大阪鐵工所に於て建造中なる驅逐艇疾風は工事も略ぼ竣工を告けたるを以て來る廿五日頃進水式を擧行する由同艇は曩に同所に於て進水したる朝霧と姉妹艦にて最新式のものなりといふ

●**奉天の新官制**

五月十日 在奉天特別通信員

趙將軍と奉天新官制との事は已報の如し然れとも將軍か行部大臣なる新奇の官名を冒さむとしたるの一事は北京朝廷に於て排斥する所となりたる由なり他は政務處の議定を無事通過すへきの形勢ありと傳ふ而して行部大臣を改めて東三省總督に擬すへしとなり今其官制の一般を知るを得たれは左に紹介す

		年俸
總督(從一品)		五二、〇〇〇兩
參贊(從二品)	仝	二〇、〇〇〇兩
副參贊(正三品)	仝	一六、〇〇〇兩
參議(正四品)	仝	一二、〇〇〇兩
副參議(正四品)	仝	一〇、〇〇〇兩

內務局、外務局、吏治局、督練局の四局には別に長官を設けすして總督之を直轄自判し參議を以て各局次官に配す

財政局、司法局、學務局、巡警局、農工局、商礦局の六局には參贊若くは副參贊を配して長官たらしめ以上十局を通して長官以下次官則ち當官協樞要の機軸に預るものは參贊副參贊を以て當り六局長官六名及ひ參議副參議を以てなれる次官十名あるの計算なるが尚は將軍否總督に陪する左右參議左右副參議各二名なかるさるへからさる勘定なりとす而して前記十局また次官以下協官あり各科正副屬官ありて實務を支辦す

仝
各局協官(正五品)
各課各廠分局正官(從五品)
上副官(從六品)
一、二、三等執事官、司譯官、司醫官、司計官(從七品より正九品)

今ま又た聞く所によれは形式を重んする淸國官憲の常として黑龍江將軍また趙將軍此次奏議の新官制を洩れ聞きて垂涎萬丈則ち相倣つて十局十司を置き大に威儀を整へんとするに意ありと官制改革にして果して官規振肅と相俟つ實に可なりとするも淸國積年の官規腐敗紊亂一朝にして振肅の効を見るへくもあらす斯くて唯た薄すべらなチャイカラ的の百の官制改革畢竟夫れ何するものぞ斯くて大言中外に對する聲を大にせむより退いて小心翼々以て官規の根本的振肅と實力實權の養成こそ卿等今日の急務にあらさるや奈何

●**公衆列車の安全**(守備兵の監視) 滿洲內地に於て馬賊の横行しつゝあるは屢々報道する所なるが近來彼等惡漢は圖々しくも汽車に乘込み旅客に危害を加ふる等の事往々之れあるにより關東總督府にては之れが豫防の爲め明十七日より一般公衆列車に守備兵を乘車せしめ以て旅客の安全に旅行せらるゝ事を計られたりと云ふ因に多額の金錢其他財物等を所持せる者は豫め乘車地の守備隊長に其旨具申し置けば相當の保護を與へらるべしと云ふ

●**安東縣領事館區域** 本月一日より開館せられ岡部領事以下館員一同の赴任したる事は我社東京電報の報ずる所なるが今該領事館の管轄區域を聞くに盛京省の中、安東縣、岫巖州、寬甸縣、通化縣、懷仁縣、臨江縣、輯安縣等なりと云ふ

●**數字電報開始**(淸語電報) 昨十五日より公衆電報を取扱ふ各通信所に於ては數字を以て連記したる淸國語の電報取扱を開始せられたるが其料金は滿洲及韓國內一語(淸語四字)十錢滿韓及び日本間一語(同上)三十錢なりといふ

●**遼輪の日淸人協議會** 遼河輪送組合員一同は豫て與倉軍政官の內訓に依り昨日淸商の重なる人と日本人會に會合し遼河輪送組合の前途に就き協議を凝したりと云ふ

●**遼輪株式組織の運動** 元遼河輪送組合理事長高坂景顯氏は一片の意見書を作成し與倉軍政官に提供し一面現在の組合員即ち二十二軒と協議を凝し純然たる日淸人合同の株式組織になさんとて昨今之れが運動中なりと云ふ

●**捕鼠抽籤** 當軍政署衛生局に於て一昨十四日第五、六回の懸賞捕鼠抽籤を執行したる結果第五回分一等賞(五十圓)當籤番號三二四四號二等賞五個(十圓)八二號、三二七六號、三五〇九號、三三九一號、一一二二號、第六回分一等賞四〇六號、二等賞三〇八七號、三一八二號、九八九號、四二號、二〇六二號、以下本紙廣告欄にある如く夫れ〳〵當籤せるを以て自己所有の番號に引合せ當籤したる者は來る本月廿五日迄に衛生局に至り當籤札引替に賞金を受取らるべしとなり

●**軍政署副官** 關東總督府附たりし陸軍步兵中尉迎專八氏は今度營口軍政署次席副官として昨朝旅順より着任せられたり

●**井上大尉** 鐵嶺軍政署副官井上大尉は一昨日來營目下彌生旅館に滯在中なり

●**淺野外吉氏** 遼東新報記者淺野外吉氏は昨朝來營本社を訪問せられたり

●**代々木以西の河岸道** 代々木以西の河岸道路に就き前號の投書籠欄に表通りと同樣修繕を希望する旨記載しありしも今其筋に就き聞く所に據れは該河岸道路は民有地に屬し居るものなれば軍政署に於て修繕すへき限りのものにあらざれば一般に誤解無きやうありたしとなり

●**彩票當籤番号に就て** 昨紙記載の大連彩票第四回は第五回、當籤番号中第三彩の 一六、三六三号は一六、三六二の誤植に付此に正誤す

●**奉天近信** 當地日本人の商業として成功の域に達しつゝあるは賣藥業を以て第一位に推さゝるを得さるの次第に御座候其廣告の手段として男は模造軍服に赤十字徽章を附し女は看護婦の服裝にて約十人の團体高聲に効能を述べつゝ行商するなど最も支那人の目をひき申候▲寫眞陶磁器時計雜貨等亦支那人の顧客なきにあらさるも未た以て共喰ひの譏りを免かれ難く信せられ申候就中陶磁器時計雜貨の如きものは支那人の嗜好に適すると否とにより大に將來の發展に關係する所有之候は今更小生の喚々を要せさる所に有之候へども新に滿州に商業を營まんとする者は須らく此邊に注意を拂ふと肝要と信し申候▲當地金城館紅裙隊の拍子少々お報申上候金吾裙は相變らす姐さん株にて如才なく立ち廻り居候但夜半人定つて後密かに南天を望んで長大息致居候金城裙は聊か衰へたるの感有之やに見受けられ申候金蝶金勇相並んて勢ひ能くお政裙は矢張營口がよろしいと申居候▲昨日或方が日本へお歸り遊ばすを停車場に見送られたる貴顯紳士の中に金城館の紅裙隊を見受け申候處容赦なき車掌が一擧手は氣笛一聲忽ち滊車の進行を始むると同時にクツと計りに金六裙の背中に泣伏したる美人有之小生も乘客の一人とて熟視するの暇無之只ちらと見遣り候に確か金花裙かと相信申候人情は斯樣にあり度ものに御座候(五月十一日やと生)

●**人の噂(二)** 鐵道工事は、江森盛孝、志岐信太郎、澤井市造、大倉久米馬、森淸右衞門の五人が請負ふことになつた、是等は鐵道屋で第一流、政府の之に分配したは、公平を得て居るは與らすと、そは鐵道も煙草も、煙を吹く仕事なれはなりとは、ケムに見た樣な咄▲官煙と云へは、內地新聞に「官煙の失敗」と、誠しやかに書いてある、何たるヨクの沙汰ぞ、渠等は實際の調査もせず、徒らに人の口車に乘りて嘘の先棒を擔く、言語道斷なり、上海の英美煙公司は、數年以前よりの獨舞臺なるを、近く日露戰爭に因りて、官烟の其繩張內を蠶食したるに、案外に成功し、現に遼陽、奉天及ひ鐵嶺以北は、却て官煙の領分となり、我等は容易に成功したるを喜ひたるに、新聞は虛妄の事實を捏造す、罪深き處行なり▲營口の商人皆な氣息奄々と云ふ有樣だ、獨り土木請負業者のみ、稍々得意である、先つ飯塚工程局、宮崎工程局、加州組等は、其の重なるもので、飯塚松太郎は如何なる人物やと云ふに、同人は所謂仕事狂で、仕事を見付さへすれは豊年で、何でも蚊でも、安直主義にやる方針だ、夫故に他人に任せることか出來す、閣下自ら御出馬と云ふ見脈なれは、とても生靑き店員は勤らぬ、而して奴さん實踐躬行で、總ての慾情を制して居る、故に將來は、多大の成功を見るならんと、或る天眼通は云へり(とま生投)

投書かご

▲矢野洋行の店先には大きな靑賁色の瓢箪のデボの出たのが据ゑてあるから彼れは何かと尋ねて見ると一人曰く彼れは此店の客止けやさ(一買物人)▲永世街のフク屋と異名のついて居る公樂園は料理が安い少くとも四割方安い一般に斯くありたいものである(誤最負生)▲郵便物の御取扱ひには誰れも能くコボして居る事ですがチャン公の配達には困り入ります無學の先生で所書さへ讀めないのであるから他人へ宛てた手紙を投入するとが度々ある手數で堪りませぬ現今にては日本人も澤山入り込み生活の道に困まつて居る者も見受けますからチャン公を廢して憐な日本人を御採用して下されては如何でせう此の如きは日本人會から御願下さる譯に行かぬでせうか(三十錢生)▲○○時計店の○○さん貴方は此程日本から御戾りに爲つたといふ事を聞きました御話申したい事がありますから是非一度來て頂戴な(○月のきん)▲HK君に告ぐ職業あり面談を遂げたし(二本町菊水SS生)▲市中を歩行くと往々風俗の宜しくない人間を見る先達も平野町小暗のい處で商人風の者と下婢らしい者とが怪しいとをやつて居た取締を願ひたい二本町の○○店は相變らず門口に支那人が澤山居る(雪雨)▲長い投書は後廻はし尙長い投書は握潰ぶし(本欄掛)

●**消防夫の退去處分** 消防夫となれば天下でも左右し得らるゝ如く心得此哥は誰れの兒分だとかイヤに御自分丈け巾を利かせて飛んだ慢心から刃傷沙汰に及んだ馬鹿に己を懸けたやうな情ない男の退去話は玆に東雲旅館の料理人中野竹造(二四)及び第一樓方大工職奧野仙次郞(卅九)といふ者あり兩名は消防組出初式の當夜其連中等が東邦亭にて慰勞會を催せし砌り例の慢心から自稱豊太閤を氣取り同席の大工職佐藤敬次郞の言葉尻が氣障とか癪だとか唱へ何れより持ち來りしか出刃庖刀を以て敬次郞の腕及び腰部に輕傷を負はし其儘逃走したるを其筋の憲兵に探知され拘引取調中の所一昨々日安寧防害てふ廉を以て無期限の退去を命せられ昨日御親類筋の豪傑に因める賴朝丸にて內地送りとは嘸〳〵滿足して歸りし事ならん

●**ミス、ユキの手簡** 確かと日附は記臆して居り申さず候へども先頃は拙き妾の履歷を御投書に預り深謝し奉り候在學履歷書とて美濃罫紙二枚も書立つる程の事には御座無く候へとも唯今此亂雜なる營口は元神廟街の初音といふレストラントにスプリング、プレジユアを餘義無き義務と爲しつゝある妾の境遇御憐察の上御目通りしを願上たきは其際御尋ねの妾が一生の理想とする彼の一件に御座候理想の彼とは最早當時のヤング、ミリオネヤーには之れ無く候思ひ切つて言へば可成美の理想と品格とを有する愛らしき其人現時こそ美衣美食を事とせず專心某所に在りて勤務せるヤング、クラークなるも彼の理想たるや美しき花蕾將に綻びんとして其期を待ちつゝある其人に候妾が上海に行くとか又は營口を去るとかは事實に於て之れ無く候俗諺に泥中の蓮、鷄群の孤鶴とやら營口の如き地にても萬更棄てたる者のみにあらざるとは豫てより妾の小さき腦を以て考へ居り候事に御座候女學校在學中より神聖なる一律の理想は終生アンチエンジエブルに御座候寫眞を帶に縫ひ付け居るなどいふ貳心は毛頭之れ無く心外至極に候理想の人は何種の人なるやに就き直に御答申兼ねしは他に憚かりし事情ありし爲めに御座候アジユー

月日ミス、ユキ

●**寄稿家に告ぐ** 通信寄書は總て編輯宛を乞ふ個人宛のものは旅行等の爲め開封遲延すれば也

火車時刻

關內外鐵道

上り 營口發前八、二〇 七、〇〇 溝幇子同九、四五 九、〇〇 錦州同后三、四五 二、〇〇 山海關着六、〇〇 八、一〇

下り 山海關發前七、〇五 四、四五 錦州同后三、三五 二、二〇 溝幇子同 四、四〇 營口着 七、五一

山海關發前八、一五 五、〇〇 北京發前 八、〇〇

東淸鐵道

上り 新民屯發前六、〇〇 溝幇子着同九、五七 營口發前六、三〇 后九、四五 大石橋着同七、三〇 一〇、四〇 大石橋發前八、〇五 后二、〇五

下り 溝幇子發后三、〇〇 新民屯着同六、五七 大石橋發前八、一五 后二、二五 營口着同九、一〇 三、一〇 大石橋發前七、三五 后一〇、三〇

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材
營口綏定門 ブツシ商會
川喜鐵工

歐米各國最新流行形
西海洋服店
(電話百二十七)

天氣豫報

營口地方天氣豫報 自十日五午後六時 至十六日午後六時

南の風曇り後チ晴れ

短篇小說　葬具屋（中）

（プーシキン作　吹田蘆風譯）

翌日の丁度正午に、葬具屋と二人の娘とは買立の家の入口を出で、隣りのシユルツエの家に行つた。作者はアドリアン・プロホロツフの露西亞上衣や、アクリイナ、ダルヤ兩孃の歐風裝飾の形容はやらない心算だ。——斯う云ふ点に關しては、作者は小說家が今猫も杓子も行る方法を避けて居る。然し二人の若い娘は、儀式張つた時にのみ用ゐる、黄色い帽子を被り、赤い靴を穿いて行つた、と云つて置く。此の位な事は辯つたとて、別に冗漫くもあるまい。

靴屋の廣くもあらぬ住居は、賓客で一杯になつて仕舞つた。賓客は主に獨逸人の職人や、その妻や、徒弟やである。露西亞人の役人では、夜番のエストランド生れのユルコ唯一人であつた。渠は役柄こそ低いが、其の主人の特別の愛顧を得る手心を能く辨へて居るのだ。渠は自分一流で、二十五年といふ間、ポゴレルスキなる郵便馬車の馭者の如く、忠實に且つ体面を保つて、服職して居た。首府を打壞した千八百十二年の大火は、赤渠の黄色な番小屋を燒き拂つて仕舞つた。然し火事といふ大敵が退却した時に直ぐ新しい小屋が代りに建てられた。それは鼠色の家で、細い白いドリヤ式の柱で建つて居る。此の家の前をユルコは再び、鼠色の兵服を着、斧を提げて漂歩き始めた。ニキツキ市門の近くに住んで居る獨逸人は大抵、渠と相識になつて居る。或る二三人の如きに至つては、日曜日の晩から月曜日の朝まで、渠の屋根の下に、御厄介になつた事もあつた。

アドリアンは直渠と知合になつた。早晩渠の世話になる事もあらう、と云ふ珠盤づくもあつての事だ。卓子に着く時刻になると、賓客は皆參錯に席を占めた。シユルツエ夫妻と、今年十七になるロツテと云ふ娘とは、賓客が食事をしたり。談笑したりして居る間、庖厨の用を手傳つて居つた。ビールは際限もなく飲まれた。ユルコは四人前も食つた。アドリアンは渠に敗を取らずに遣つ付けたが、流石に二人の娘は床やかに控へて居つた。俄に主人は賓客に暫時の注意を願つて、酒壜の木栓をスポンとやつた。で露西亞語で聲高らかに。

「わが壯健なる妻ルイイゼの健康を祝す。」

例の三鞭酒が泡立つ。主人は情を籠めて、四十歳になる同穴の伴侶の、生々した顏を接吻した賓客の方も何やら騷々しく、壯健なるルイイゼ夫人の健康を祝した。

「我が敬愛する賓客の健康を祝す。」と主人は第二の酒壜を拔き乍ら呼ばはつた。

賓客は夫々之に答へた。又酒杯が鏗鏘と鳴る。早祝杯は不斷幕なしと云ふ騷ぎだ。賓客の相互の健康が祝されたのは無論の事、モスカウ市やナニの獨逸市までも祝杯を舉げられた。組合全体、さては組合中の一人々々、又職人も其の徒弟も健康を祝するを行られた。アドリアンは間斷無しに煽り付けたので段々調子付いて來る、自分から進んで例の健康を祝すを云ひ出さうかと考へる位になつた。すると俄然、賓客の一人なる肥滿の麵包燒人は、突立ち上がつて叫んだ。

「我々各自が勞働又は商賣の御花主の健康を祝さう。」

此の申出しは滿塲一致で愉快に贊成された。賓客は御互に挨拶をし始めた。仕立屋は靴屋に、靴屋は仕立屋に、麵包燒人は兩人に、御辭儀をした。又皆は一緒に麵包燒人や外の連中に、夫々挨拶をした。

皆互に御辭儀をし合つてる看最中、ユルコは隣りの賓客の方に向き直つて、叫んだ。

「ホラ、御父ツアン！死人の健康を祝す。」

皆動搖き笑つた。然し葬具屋は嘲笑にされたのだと想つて不機嫌になつた。そんな事に氣が付く人のあらばこそ、賓客は只煽りに煽つて居たが、時の鐘が已に夕暮を告げたので、皆卓子から立ち上つた。

夜遲くなつて漸と賓客は散會した。大抵の人は上々機嫌で肥滿の麵包燒人と赤い山羊皮の樣な顏をした製本屋とは恩人のユルコをその番小屋まで連れて行つた。露西亞の諺に「負債を拂ふと名譽を貰ふ」と云ふのがあるが、渠等は此の場合に於いて、その眞理を証據立てたのである。

葬具屋は軟柔に醉拂つて、憤々して家へ歸つて來た。

渠は呶鳴り立てる。「ヤイ、一体々々、如何云ふ理由だい？吾儕の商賣が、貴樣達の樣に、豪勢でねえと云ふ理由を聽きてい者だ。眞逆葬具屋だつて、斬首人の兄弟ぢやあるめえ。篦棒奴ツ！何で異敎徒の野郎共が吾儕樣の事を笑やがるだ。何ツ葬具屋は耶蘇敎の滑稽役だと⁉イメ〳〵しい野郎共だ。吾儕は彼奴等を馳走に呼んで、宴會をしてやる心算だつた。然し今になつちや、オイソレと直行る譯にや行かねえ、ウム左樣だ！彼奴等の代りに、吾儕は吾儕の御花主を招待するのだ。——吾儕の正敎徒の死人樣を——」

渠の長靴を脫がせて居た娘は驚いて、「何ですツテ、御父ツアン、マア何て云ふ事を喋舌つてゐらつしやるのよ。十字を御切りなさい。死人樣を御馳走するだなんて、マア滅相な。」

アドリアンは何も語り續けた。「ウンニャ、有りと有らゆる惡魔に誓つて、吾儕は死人樣を招待するのだ、明日招待するだ。何卒御花主樣、明晩御出で下さいまし、御馳走を致しますから。私は諸君を神樣の施物で御饗應しますだ。」

斯んな事を云ひ乍ら、葬具屋は寢床の上へ蹌き倒れて直にグー〳〵やり出した。

告示

五月十四日第五、六回懸賞捕鼠抽籤執行の處其當籤したる番號左の如し
當籤者は左の通り心得可し
一、當籤者は五月廿五日迄に衛牛局に至り當籤札と引替へ賞金受領す可し若此期限を經過するときは其當籤効力は消滅す
二、賞銀額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

本月十四日施行第五第六拈鬮鼠票得彩號碼如開於左來其得彩者五月廿五日以內各携原領執照往赴衛牛局領銀可也若過期不赴領者將其得票爲消廢爲此特示

譯文
賞銀額
一等　銀五十圓　二等　銀十圓
三等　銀二圓　四等　銀一圓

第五回捕鼠抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

三二一四　八二　一一二二　三九五　八五三　八四九　六三八　三一四三　三三五〇　七八七　二一二八　八五七　二六六七　二四四三　二一八五　二八六　一九九四　七二　七〇三　二四七二　四六二　二三二〇　一九四一
三二七六　二八九四　二六〇四　二〇三五　八三七　二二九九　二二八五　九五三　五三五　二九〇〇　四五二　二八四八　二八二八　三五九四　六五三　五八九　三五九六　二一三八　四一　二八八九
三五〇九　二五四五　四一一　二八八三　九〇四　三二八八　三〇一二　二二七九　二〇八四　一三七　三八九　六九　四三九　一九二三　六五四　一三七一　三〇九〇　三四〇九　一八五七
三三九一　一九三八　一八二七　三六一八　一四四六　二八三五　一八四八　二五八四　九九三　一七五一　三二一四　七六七　二〇一六　二二七八　二九五　一九一三　四〇一　三一六六　一〇七九

第六回捕鼠抽籤當籤番號

一等　二等　三等　四等

四〇六　三〇八七　二〇六二　一二七一　四〇七　八五五　二三二四　四三〇　三〇二　三三二七　一九一五　一四〇四　二二七三　一三五八　二二五七　一二九一　三〇七七　二一　三九三　二八六二　二八七三　五九七　一五一〇
三一八二　二三九四　三一六九　三二六三　一八五二　二五一九　四〇九　三〇三〇　三〇九四　八〇四　三二一二　一八六七　二八七七　三一三二　一三九四　三二四七　二八八六　三〇九四　四〇〇　二〇三一
九八九　三一一〇　六五五　一三七〇　二九九〇　一八五三　三〇一三　三四〇六　一八九五　三六一五　一七九三　三四七八　一八四六　二三〇　三二〇七　三五九〇　三一二〇　一五六二　二四一六
四二　一〇六一　二八六一　八七四　二八六五　一八五四　二一三一　四四三　二二四八　一八八九　九〇五　三〇九一　一七三　三一五〇　一三二四　三一一四　一二六　三三二二　二九〇七

告示

曩キニ公衆日本文電報ヲ取扱ヒシ滿洲各地通信所ニテ五月十五日即チ清曆四月二十二日ヨリ中國電報新編ニヨル清國文公衆電報ヲ取扱フコトナレリ其電報料左ノ如シ
一、滿洲各地並ニ韓國ニ到ルモノハ一句四字每ニ十錢トス
一、滿洲ヨリ日本ニ到ルモノハ四字每ニ三十錢トス
右告示ス
明治三十九年五月十四日
營口軍政署

告示

凡前所通達日本電報之滿洲各通信所今擬定自東歷五月十五日即清歷四月二十二日起凡通清國電報者可便用通行電報號碼特將電費開列於左
一、到滿洲各地並高麗每句按四字核算銀一角
一、滿洲至日本每句按四字核算銀參角
明治三十九年五月十四日
營口軍政署

廣告

競爭入札廣告

一重燒麵麭　二万四千箱
但一箱六十食分入

此入札保證金各自見積り代金の百分の五以上

右競賣す買受望の者は來る五月一五日より同月二十四日迄（午前九時より午後五時迄）の間に於て現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上五月二十五日午前十時迄に入札書差出すへし
但し即時開札す此契約は滿洲軍倉庫遼陽支庫殘務整理員小野運八擔任す
明治三十九年五月十日
滿洲軍倉庫
遼陽支庫殘務取扱所
注意　殘務取扱所は關東陸軍倉庫遼陽支庫內に在り

●森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を許す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
▲姙婦の入院を許す（產婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　森嶠
副院長　醫學得業士　長船郁太郎
一本院齒科開設（五月一日より開始）
齒科醫　兒島市郎
森病院（電話一五五）

和洋雜貨　盛進商行

新着
椅子　卓子。窓懸。卓懸。花莚。マット。油多加織。ビロードセン。

滿洲第一　湯崗溫泉

風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀傷
營口　大石橋　海城　湯崗溫泉全停車場　遼陽　奉天

銘酒劍菱　新荷着

右劍菱印新荷着仕候に付多少に不拘御注文被成下度願上候也
遼陽停車場向と
池上出張店

資本金參拾萬圓　日清合股

昌
滿洲昌圖株式會社　營口分局
營口元神廟街第貳九八號
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽

本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房

彙辦關內外鐵道又海外轉運（與大淸通運公司連接）東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠運貨客愛顧務祈貨客親自到本號房及各處分局賬房面議爲荷守傳路途倘有水濕毀壞短少等之損傷本公司言明按卸地市價包補此謹白

滊船入港案內

盛航丸　廿四日入港
御乘船の御方は御一報次第切符持參仕候尙御手廻荷物當店送迎組へ御用命仰付被下度此段奉願上候
輸出入稅関手續　仲立業
解船人夫運搬請負　水陸輸送貨物仲次所　諸品委托賣買　倉庫業
西北街　德重洋行

美味安價西洋料理　牛莊亭

營口永世街五十二號鶴の湯東隣

材木　荒物　販賣

秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

廣告

大阪鐵田組支店開設
今度新に內地より技師及職工を傭聘し土木建築一切の受負業務開設候に付大小に拘らず御注文の程奉祈上候
假事務所營口西北街高砂ホテル內
主任　鐵田米吉

發賣

料木杆子　一丈　一丈二
亞鉛板、白糖、醬油、日本米、菓子、朝日麥酒
雜貨一切御賣
日本酒春駒一手販賣
捌荷洋行
營口元神廟街
（電話一四七番）

新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹、疊
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
(電話百五十二番)

GERMANIA BRAUEREI, TSINGTAU

Light Beer after Pilsener Make.

Dark Beer after Munich Make.

in barrels of 25–50 litres . . . per litre $ .28
,, cases of 48 1–1 bottles . . . ,, case $11.50
,, ,, ,, 80 1/2 ,, . . . ,, ,, $13.50

JULIUS JASPERSEN
Sole Agent for Manchuria.

青島釀造獨逸ビール●●●●●
一手販賣廣告
ペルシナー種ライトビール
ミユンヒ種黒ビール
二五リートル入ヨリ五〇リートル入マデ樽各種アリ
各一リートルニ付廿八錢
大瓶四ダース入一箱十一圓五十錢
小瓶八十本入一箱十三圓五十錢
滿洲特約一手販賣店
營口 德茂洋行
支配人ジユリヤス、ジヤスパーン

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

和紙及雜貨
洋貨類
大販賣
奉天城內鐘樓南大路西
千賀洋行
(電話…號)

一稅關手續
一船舶陸揚荷物
一日本帆船
一倉入荷物
一委托販賣
一荷物保管
取扱
營口永世街
市街鐵道驛前
精心洋行
右誠實敏速を旨とし御用命に應し可申候條陸續御愛顧を偏に奉希上候
尚日々Ⓢの腕章付したる店員御伺せ申上候に付多少ニ不拘御用命仰付被成度願上候

大連市監部通二丁目五百廿五番地
高野孟矩法律事務所
但高野孟矩不在の節は辨護士戶口茂里代て事務を扱ふ
東京市京橋區南金六町十五番地
大阪市北區河內町一丁目六十七番地
追て當事務所は勿論仙臺名古屋靜岡橫濱宇都宮神戶廣島岡山福岡長崎等には事務上の聯絡を取結居候に付き右各地に於て處理す可き事件も當大連に於て御依賴に可應候

(營口永世街)
回天堂三木大藥房
存案
招牌
經營項目
●各種靈驗丸散膏丹
●東西兩洋各種藥材
●各樣玻璃瓶子
●各種繪具染料
●消毒及繃帶材料
●肥皂(胰子)牙粉洋香水等貨
●醫化諸學所用機器
●照相所用藥料及機器
●外醫藥應用所有一切等貨應俱全
(電話百九十番)
凡所備置各貨均皆實心撰擇料正品稔期平價發兌而廣招徠如蒙仕商賜顧者或面議或函購或托辦均必認眞辦理無誤
特此佈告

營口元神廟前
工
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て御引立の程奉希上候
間多少に不拘賣却仕候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東營口西北街
裕和盛
電話八番
東清鐵道
遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒洋の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
內外煙草、葉卷
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醬油
酢、木炭、其外
色々
御並に小賣
彩票
每月
大連
鐵嶺
南洋
湖北
發賣
本店 長崎
支店 芝罘 鐵嶺 旅順 京城 仁川 木浦

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉
(電話一三六番)
材木
煉瓦
木炭
發賣
塩川商會
遼陽小西門內
鹽川商會
●建築
外に
用材北海道産松大角(自廿五尺至三十尺)二万立方尺餘
電柱用材杉丸太長(自二十尺至三十尺)八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口青堆子
加州組
(電話八十六番)

ペンキ塗請負
京阪組
營口豐濟門街李俊宅前
榎本康平

關內外蘆漢鉄道貨物
一運輸(但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候)
一海關手續
事務取扱(但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ)
一鈔關手續(但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱)
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司
營口支店

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市場前
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎
(電話百七十八番)
即席和洋料理
東京樓支店
(電話四十四番)
西洋料理仕出し御需に應ず

御披露
今般左記之處へ支店開業仕候間御引立の程奉願上候
月 日
鐵嶺西門外火神廟六十一號
支店 高砂ホテル

一、稅關手續
一船舶輸出入荷物取扱、荷物保管
一日本郵船部、回漕部
一爲替附キ荷物ハ便利ヲ計リ可申候
一引換書御送附ニ相成レハ諸費立換ヘ配達或ハ保管可申候
市場北店三ノ二階 時計樓階
宮原公司

大勉強
一會席 三ツ鉢吸物附 御一人前銀三十錢より
一まめめし 御一人前二十五錢より
右之外御意に從ひなんでもいたし升
仕出しも仕候
月 日
營口元神廟街二〇九號
翁亭

質屋營業
精々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南恵第三十六號
北斗洋行質屋部

御料理
板場新來了料理は高尚ト清潔ト廉價ト輕便トヲ打テ一團ノ會席ト仕出ヘ御意ニ從ヒナヲモヌス
ゲンシン ビヨガイ
雪月花
まつのや
新來の姿等東も西も南も北もわかりませぬもの何卒御引立を願ます
まつのや藝妓
全 松吉
全 二〇か
義太夫 牛莊
御客樣方

開行　天津　北京　山海關着　大連着同　吉圖着

其外鐵物諸般

氣溫　最高溫度六十五度八　最低溫度五十三度一

宮門抄

十七日

刑部　都察院　大理寺　廂紅旗値日無引見　鐵良謝充督辦各海關稅務　恩　英信假滿請　安　唐紹儀謝充會辦各海關稅務　恩　意公請假十日　順天府奏京師得雨二寸有餘

召見軍機

皇上明日辦事後卯正二刻至

天壇畢還海

蔡金臺李灼華遞封奏各一件

奏議

出使各國大臣會奏請宣布立憲摺

奏爲環球各國全行憲政擬參考纂輯宣布實行以定國是而固邦本敬陳管見恭摺仰祈　聖鑒事竊臣伏讀　諭旨特派親貴大臣分赴東西各國考求政治本年八月二十日欽奉　上諭前有旨派載澤等分赴各國考察政治該大臣等各至一國著各該駐使大臣會同博采悉心考證以資詳密欽此伏維我　皇太后　皇上勵精圖治發奮爲雄薄海臣民固已慶　鴻業之有基冀幸福於無旣而海國士夫亦以我將立憲自今伊始必將日强爭相走告臣等耳聞目見尤不覺忭慶踰恒竊惟憲法者所以安宇內禦外侮固邦基而保人民者也濫觴於英倫踵行於法美近百年間環球諸君主國無不次第舉行竊跡前事大抵弱小之國立憲恆先瑞典處北海逼强俄則先立葡萄牙見迫於西則次之比利時荷蘭壤地褊小介居兩大則次之日本僻在東瀛通市之初外患內訌國孤如綫則次之而俄羅斯跨歐亞之地處負隅之勢兵力素强得以安常習故不與風會爲轉移乃近以遼瀋戰事水陸交困國中有識之士聚衆請求今亦立布憲法矣最强之國所以立憲最後者其受外來之震撼輕故其動本國之感情毅然而强大如俄猶激動於東方戰敗計無復之不得不出於立憲以冀挽回國勢觀於今日國無强弱無大小先後一揆全出憲法一途天下大計蓋可知矣且夫立憲政體利於君利於民而獨不便於庶官者也考各國憲法皆有君位尊嚴無對君統萬世不易君權神聖不可侵犯諸條而凡安樂尊榮之典君得獨享其成艱鉅疑難之事君不必獨肩其責民間之利則租稅得平均也訟獄得控訴也下情得上達也身命財產得保護也地方政事得參預補救也之數者皆公共之利權而受治於法律範圍之下至臣工則自首揆以至鄉官或特簡或公推無不有一定之責成聽上下之監督其貪墨疲冗敗常溺職者上得而罷斥之下得而攻退之東西諸國大軍大政更易內閣解散國會習爲常事而指視所集從未及於國君此憲法利君利民不便庶官之説也而諸國臣工方以致君澤民視爲義務未聞有以一已之私阻撓至計者我國東鄰强日北界强俄歐美諸邦環伺逼處岌岌然不可終日言外交則民氣不可爲後援言內政則官常不足資治理言練兵則少敵愾同仇之志言理財則有剜肉補瘡之虞循是以往再閱五年日本之元氣已復俄國之憲政已成法國之鐵道已通英國之藏情已熟美國之屬島已治德國之海力已充夯然交集有觸即發安危機關豈待蓍蔡臣等反復衡量百憂交集竊以爲環球大勢如彼憲法可行如此保邦致治非此末由惟是大律大法必須預示指歸而後趨向有準開風氣之先肅綱紀之始有萬不可緩宜先舉行者三事一日宣示宗旨日本初行新政祭天誓誥內外肅然宜略仿其意將　朝廷立憲大綱列爲條款謄黄刊貼使全國臣民奉公治事一以憲法意義爲宗不得稍有違悖二日布地方自治之制今州縣轄境大逾千里小亦數百里以異省之人任牧民之職庶務叢集更調頻仍欲臻上理戛乎其難各國郡邑轄境以戶口計其大者亦僅當小縣之半鄉官恒數十人必由郡邑會議公舉如周官鄉大夫之制庶官任其責議會董其成有休戚相關之情無扞格不入之苦是以事無不舉民安其業宜取各國地方自治制度擇其尤便者酌訂專書著爲令典尅日頒發各省督撫分別照行限期蕆事三日定集會言論出版之律集會言論出版三者諸國所許民間亦以得自由爲幸福然集會受警察之稽察報章聽官吏之檢視實有種種防維之法非若我國空懸禁令轉得法外之自由與其漫無限制益生厲階何如勒以章程咸納軌物宜采取英德日本諸君主國現行條例編爲集會律言論律出版律迅即頒行以一趨向而定民志以上三者實憲政之津髓而富强之綱紐臣等待罪海外見聞較切受　恩深重緘默難安用敢不避斧誅合詞籲懇伏願我　皇太后　皇上宸衷獨斷特降　綸音期以五年改行立憲政體一面飭下考察政治大臣與英德日本諸君主國憲政名家詳詢博訪斟酌至當合擬稿本進呈　御鑒並請　特簡通達時事公忠體國之親賢大臣開館編輯大清帝國憲法頒行天下一面將臣等所陳三端預爲施行以樹基礎從此南針有定歧路不迷我　聖清國祚垂於無窮　皇太后　皇上鴻名施於萬世群黎益行忠愛外人立息覬覦　宗社幸甚天下幸甚臣等不勝屏營戰慄之至所有擬請定期仿行憲政緣由謹合詞恭摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒訓示再此摺係臣誠臣大燮公商主稿會同臣□□等辦理合併聲明謹　奏

中外要聞

●俄派員擁達賴入藏　駐俄胡欽差日前電稱目下俄京傳有達賴喇嘛日間由三音諾顏啓程回藏之説俄皇擬贈以頭等寶星並派同教俄人三四十名保護達賴入藏等語按達賴喇嘛夙被俄人籠絡甘爲其傀儡故英國頗不喜達賴喇嘛回藏如見其回藏必有一番轇轕況俄人擁達賴入藏哉政府諸公如不速講究對付之法則西藏遂爲英俄角逐之區中國獨受其弊矣

●比不允借美欵修路　現聞有曾充橫濱領事之鄒振清太守擬借用美國款項興修京漢支路聞京漢鐵路比工程司不認以爲該路曾聲明如修造支路須用比國欵項故借美欵爲不合也

●請查辦售蒙地於俄人事件　聞政府有電致肅王略稱內蒙敖漢王旗有喇嘛私售地于俄人情事請査責令該蒙王贖回並拏捕該售地之喇嘛嚴治以罪

●俄復興海軍消息　俄都消息云俄皇飭令當軸復興海軍並再設參謀部

●慶邸恩遇　內廷消息慶邸近以年力衰日前堅請辭退要差未蒙　兩宮俞允已奉　恩諭可毋庸逐日進內値班遇有要事再行入覲以節勞瘁

●順屬改巡警消息　聞近日陳署京兆擬將四路廳原設之馬隊巡緝一律飭習警務俟前次保送警務學堂之學生畢業時即先行分赴四廳俾資訓練

●擬奏派鄂督兼任通商大臣　聞政府近有奏派鄂督張香帥兼任通商大臣之議（仿直江兩督兼任北南洋通商大臣之例）蓋因京漢路已通粤漢川漢兩路亦漸次開築漢口爲全國鐵路之中心點將來商務必更繁盛不可無大員以振興鼓勵之又因香帥日前上一封奏援直督駐節天津例自請移駐漢口故政府於奏派香帥兼任通商大臣之議益決

雜報

●木稅將移安東　昨有東邊官場人云向年上江所屬大江渾江等處伐木人夫不下數萬所代諸木每當夏際江水漲流編作木排列號沿江順流而下至安東縣西南九十里大東溝地方以便售消該處百行商業多賴此以爲生涯近年稅務因無一定而伐木諸人不肯放排以致東溝生意蕭條商鋪多爲閉業乃將瀰市移於安東上江木排尙未放下故東邊道張觀察前數日由省奉趙軍帥命赴安東縣磋商此項木稅公司如能妥協木排亦必擁下云

●長幼無序　埠東周家平房有任姓者家稱素封家長年近古稀有弟婦六旬餘其子亦近不惑日前因家務相爭致伯毆仲妻侄毆嬸母一時憤戾不恤倫理適有路人見該媼狼狽不堪披髮拽杖屢起屢蹶奔向埠內嗚狀尋有人追而勸解未悉後竟如何云

●倚勢淩人　適於西義順碼頭見有某某二人買得黃花魚三包于該碼頭登岸詎該舖之夥勒令遠移某某求之不得未敢稍停即行趨避其夥猶口出惡言幸某某忍耐速行未致釀成毆鬥奉勸本埠舖商約束各夥幸莫狐假虎威致壞聲名也

●會水落行　近日本埠同外埠會水銀加色乂跌昨日向上海會水銀市行每千兩給收主加色三十五兩向天津會水每千兩加色九拾兩向瀋陽加色二十兩向寬城子加色十五兩向吉林加色十八九兩向錦州會現銀一錠加色四兩八錢向烟台會現銀一錠加色四兩八錢本埠現銀一錠加色四六錢小洋圓換爐銀一錠七十六元六角大手票每元換爐銀七錢四分云

笑林

●高帽　有迂儒賦性荒唐事無論可否惟以諛己者爲知己俗所謂好戴高帽也奈才思數拙有嘲巳者亦不悟也一日與友談友云以君之格可謂善戴高帽矣迂儒不悟也以爲諛己因往帽店向其店人購取高帽店人見其痴若此因諷之曰高帽雖有不輕以予人者然君高帽己戴得多是以頭無骨氣更且腦筋受逼腦力皆虧猶復左一件右一件從事於高帽中以討生活將欲自項至踵如猪之入笠鶩之被籠而後快耶迂儒聞之垂頭喪氣而退知其事者復笑之曰這件高帽戴不著矣自後迂儒寡交人亦不復以高帽進

●改詩　有某甲作重陽詩一首詩日重陽時節雨紛紛邀飲登高醉斷魂賦得詩成天已晚風吹帽落菊猶存自讀之洋洋得意向某乙而言乙笑曰予代改之重陽時節雨紛紛路滑登高跌斷魂說與傍人同一笑風吹帽落髮猶存乙改還哈哈大笑而去

NEWCHWANG, WEDNESDAY, MAY 16, 1906.

We congratulate Russia on her recent acquisition of the Imperial Duma. Telegrams tell us of its successful opening, at which the speech from the Throne has made a favourable impression. The occasion had been one long looked forward to by the impatient populace, truth to say, not without serious misgivings as to its promised advent.

However it has come after all as a happy reality, entitling the people to a precious share in the government. The grant may be very meagre at the start. Still, in which like instance has it been ever otherwise? Let both governing and governed be sensible and forbearing to each other, and this seed of popular liberty may be by degrees nurtured into a fruition such as to satisfy the more liberal expectations.

At any rate this marks a good beginning which, come what it may, is never to be suppressed, and opens an extraordinary era for the Russian Empire whose name has but stood for absolute autocracy.

However Count Witte's resignation just on the eve of this event is surrounded with an ominous mystery that may well give rise to apprehension, inasmuch as many believe the Strong Man of Russia to have been morally crowded out of power by the growing Reactionary influence.

Before his ill-timed retirement is explained away to disarm every fear, how are we to welcome the appointment to Foreign Minister of M. Iswolsky who is noted for his anti-aggressive foreign policy—a priceless rarity in the diplomatic circles of Russia? While his entry into the Cabinet deserves in itself most sincere congratulations from all lovers of peace, will not all the joy that may accrue therefrom be killed off by the question suggesting itself: "What showing can the non-aggressive Foreign Minister hope to make against the Reactionary combination that has made even the Strong Man of Russia in the Premier's chair quail before its frown?"

All depends upon how the energy of the Grand Ducal machination has been harnessed or unharnessed.

Mr. and Mrs. Sammons gave a dinner last evening. Covers were laid for fourteen. *Mr. and Mrs.* Clarke, *Mr. and Mrs.* Bandinel, Lt.-Col. and Mrs. Yokura, *Mr. and Mrs.* Masada, *Miss* Grills, *Mr.* Segawa, *Mr.* Beltchenko, and *Mr.* Higgs.

Lt. S. Mukai, Imperial Infantry, who has been appointed the 2nd Assistant Administrator of the Yingkow Administration, arrived here yesterday from Japan.

Mr. and Mrs. Wilson have lately come back from Shanghai. We understand that Mr. Wilson is going to start a commission agency in partnership with Mr. Hickey.

A Chinese apparently about 40 years of age was found dead yesterday morning in a pontoon belonging to Messrs. Bush Bros. and kept ashore near the East Gate. A post-mortem examination held over the corpse showed that death had taken place some time a little after midnight during the preceding night presumably from opium poisoning. The remains bore no marks of violence nor any clues for identification, pending which they have been buried temporarily.

THE LATEST TOKYO TELEGRAMS.

H. I. H. Prince Kan-In, Lt.-Gen. is likely to be specially sent to the United States to convey in person the Imperial message of sympathy for the recent earthquake.

Marquis Ito proceeded to Tokyo from Oiso last Monday.

The appointment of M. Iswolsky Russian Minister to Copenhagen to Minister of Foreign Affairs has been officially telegraphed by the Japanese Minister Motono.

A special wire from London states that the news of M. Iswolsky's entry into the Cabinet has produced a favourable impression in France. It is generally anticipated that the anti-aggressive foreign policy advocated by him will be sure to bring on a marked improvement into the Anglo-Russian relations.

A general meeting of the Japanese Red Cross Society is reported to be held on June 12th, at the Imperial Museum, Uyeno Park, Tokyo.

The Tartar-General of Heilungkiang has asked the Peking Government for a supply of arms and ammunition to cope with the bandits that are extending their looting operations as the evacuation progresses in Manchuria.

The Tartar-General of Kirin has also presented a similar request.

廣告

啓者敝館現在擬定推廣報務新增機器以便印刷各種冊籍單張凡大而書籍廣告傳單及小而商報名片等類皆能妥實迅速定期取件並能代譯日英各文一切紙料悉從東洋自行運到各式既全價尤廉減較之取購本處者其價目格外公道　貴官商賜顧無論何件均可訂印且不拘多寡一律定價以廣招徠務乞隨意惠臨面訂一切可也

滿洲日報帳房謹啓

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號(電話八四番) 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三軒

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川清三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街(電話一四五番) 店主 片山小みつ

旅館 竹村館 永世街二十二號(電話五一) 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街三十四號(電話十一號) 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豐滿門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百手九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

旅館料理 金城ホテル 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科　さるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街錦の湯角

御料理 並ニ温泉 一力 毎日暫湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 住松信大巌

料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

奉天旅館料理屋案内

旅館 奉天館 奉天城内鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館(電話一五)

和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街(電話一四)

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉(電話 號)

會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西門通(元紅葉館跡) 温泉付大勉强キレドヲイシと (電話 號)

旅館料理店 日の出樓 奉天小西關大街南側 樓主 大瀨七造(電話十七號)

旅館料理店 日盛館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 入江熊男(電話 號)

旅館料理店 梅松館 館主 押尾富次郎(電話 號)

旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井ニ

旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎

御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北(電話二十五號)

旅館料理店 日章館 牛肉すき焼 雞肉 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入(電話 號)

旅館料理店 旭館本店 奉天大西關　旭館支店 奉天十間房 館主 原田新吉(電話 号)

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 林德松

御料理會席 菊水館 主任 朝枝團鎚

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 凱旋亭 色々應御注文 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽倶樂部 遼陽兵站司令部指定ホテル 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田清

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 遼陽西街西門二一七号 上松榮治郎

今有賓州廳之東老營口街永增盛郝俊卿於二月初旬在哈爾濱上火車被匪人將遂帶銀元包壹個計洋拾五元内有奉天德源布櫃存錢條一紙計瀋錢五萬八仟三百吊其條上註期至四月初一日見條付錢因此條已失本號今在省至期業將存錢如數使出倘失之原條日後稍見來討即作廢紙勿付切切

奉天 天然清水氷發賣廣告
倉庫二ヶ所 毎倉庫約二十五万斤
特約一万斤以上
右發賣仕候間至急申込相成度候
奉天小西門外内 大仁洋行

一和洋御料理 遼東館 遼陽城内東街
本館は遼陽城内第一繁盛の地にあり内外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勧に依り宏莊美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得へく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彦に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

旅館 御料理 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

今回海陸連絡の便を計る爲め當行瀛船頼朝丸、摩耶山丸、第二播海丸、中國丸の四隻を以て大坂、神戸、門司、大連、營口間を定期航海せしめ滿洲内地には左の箇所に出張所を設け海陸輸送及輸出入品委托販賣業に從事仕候に付き陸續御用仰付被下度候也
本店 大阪市西區西道頓堀貳丁目 河邊商店
支店 營口元神廟街 松茂洋行

大連信濃町百十一號 松茂洋行出張所
奉天小西門外大街路 松茂洋行出張所
鐵嶺西門外 松茂洋行出張所
昌圖府驛 松茂洋行出張所
猶東清鐵道各驛に代理店を設置し御便利相計り申候

會席料理 三日月 營口警務課前南へ入る

和洋會席 御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町 日本館(電話百三十)
各位樣

業務擴張

弊所儀從來活版印刷業罷在候處今回業務擴張の爲め印刷器械並に歐文活字を購入し更に歐文印刷部を新設し且つ技術に熟練なる職工を聘備致從來の御高恩に酬がため非常大勉强仕高需に應し可申候條尚不相變倍舊の御愛顧を垂れ御用命被仰付度伏て奉懇願候 敬具

活版印刷并に製本

弊所特色
●印刷鮮明
●價格低廉
●叮嚀專一
●期日正確

營口入口永世街東二本町角 川本活版所

各國高等雜貨 電話百五十四番
新荷着
歐米各國高等化粧品、新流行夏帽、靴旅行用鞄各種 籐製寢臺、椅子、御婦人用小間物種々
其外珍敷品澤山
營口永世街 川本洋行雜貨部

新荷着
高等麦酒スペシヤルライト
スペシヤルライトはビルスナビーヤにして原料精撰風味高尚夏期唯一の好飲料なり
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲特約販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部(電話五番)

第二回新荷着

金舛洋行
盛進商行

爲替相場（五月十五日）
日本向 百〇二圓(軍票百圓に付)
上海向 七十一兩二十五錢(同)
天津向 一百〇二圓八十七錢五厘(百弗に付)
芝罘向 一百〇三圓五十錢

日本品最近物價表
紙類 加藤洋行
一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢
一美濃紙 仝 七圓五十錢
一仙花紙 一帖(六十枚) 六十錢
一塵紙 一〆 一圓七十錢
一狀袋 二十枚綴 三錢二厘以上四錢
一仝 百枚 十三錢以上十八錢
室内裝飾品及寢具 矢野洋行
一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓
一腰掛 五圓五十錢以上十四圓
一疊 二圓六十錢以上三圓
一薄樣 十枚 八圓
一麻綴通 一疊敷 三圓
一綿綴通 仝 三圓五十錢
一由加多織 仝 一圓七十錢
一白毛布 二枚綴 八圓以上十五圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription
4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙
廣告 二十一字詰一行一回 金二十仙